

令和3(2021)年度

# F D研究部会活動報告書

第13号

徳島文理大学  
徳島文理大学短期大学部

## 巻 頭 言

私たち教員は、何を目的にして、何を思って、日々の授業をおこなっているのか。普段、このことを自らに問いかけることは稀です。講義室にいる学生は、何を求めて大学で講義をうけているのか、講義を受けて何か得たことはあったか、このことを、学生に問いかけることも、また、稀です。そもそも、大学の存在意義について、教員は考えることもありません。それほどまでに、私たち教員にとって、毎日の教育活動は、当たり前前の繰り返しになっています。

今一度、私たち教員は、講義の効果を上げるために最大限の工夫をすべき時です。そのためには、講義内容が、学生にどのように、どれだけ伝わったかを、客観的な指標で知ることが必要です。ひとつの指標が、学生授業アンケートだと位置付けられます。

Faculty Development (FD)活動は、大学教員の教育能力を高めるための実践的方法を考えようという理念で始まりました。日本では、2000年頃にFD活動が始まりました。ところが、授業内容を点数評価するという一面的で硬直したものであったため、独創的で効果的な講義であっても、見落とされるという弊害がすぐに露呈しました。このことを教訓にして、今では、学生の受益効果を可視化することで、教員は自己評価との乖離を認識できるようになりました。

学生の授業アンケートは、講義を受ける学生の基礎学力、やる気、目的などで変動することも事実です。それはそれとして、私たち教員は、その結果を謙虚に受け止めて、よりわかり易く、より効果的な講義を提供する使命を忘れてはいけません。

副学長 梶山 博司

## 目 次

1. はじめに	1
2. FD活動の内容	1
3. 研修会	4
4. 全学授業アンケート	8
5. 研究授業	10
6. 卒業予定者対象・大学生生活満足度アンケート	15
7. 在学生対象・学修状況アンケート	25
8. おわりに	33

### (資料編)

1. 要綱・内規	資料編 1
2. FD研究部会 部員名簿・会議一覧	資料編 3
3. 研修会	資料編 5
4. 全学授業アンケート	資料編 11
5. 研究授業	資料編 22
6. 卒業予定者対象・大学生生活満足度アンケート	資料編 25
7. 在学生対象・学修状況アンケート	資料編 30
8. 用語解説	資料編 38

## 1. はじめに

F Dは、大学設置基準「(教育内容等の改善のための組織的な研修等)第二十五条の三 大学は、当該大学の授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする」(平成20年4月1日施行)により法的義務となっている(短期大学も同様)。本学の「F D研究部会」(以下「部会」)も、平成19年12月、F D活動の推進・研究を目的として設立された。その後、「徳島文理大学教育開発機構設置要綱」(平成29年4月1日施行)にて、「当面する教育上の諸課題又は学長からの諮問事項を研究協議」する「学長直属の教育開発機構」内の組織として、「(1) 全学教務委員会 (2) 入試制度検討部会(入学前教育を含む。) (3) 全学共通教育研究部会 (4) F D研究部会」と位置付けられた(資料編1頁参照)。

部会の構成員は、各学部から1名ずつ(ただし保健福祉学部は各キャンパスから1名)選出され、学長により任命される。それらのメンバーを中心にF D活動を行ってきた令和3年度の報告書が、本誌、第13号である。各学部におけるF D推進に活用していただければ幸いである(なお、本号から印刷物ではなく、ウェブ掲載となっている)。

## 2. F D活動の内容

本学のF D活動は、令和3年度、新たな段階に入ったといえる。それは、①全学F D研修会の講師を二人の学内教員が務めたことと、②全学生対象の新たなアンケート「学修状況アンケート」を実施(試行)したことによってである。

①従来、本学では、学外から講師を招いての全教員参加の全学F D研修会が行われてきた。具体的には、定例合同教授会(テレビ会議システムでキャンパスをつなぎ開催)に引き続いて、徳島キャンパスで講師に講演をしていただき、簡単な質疑応答を行い、終了後に、別途、関心がある教員を中心に、詳しいやりとりをする時間を設けるという方式であった。

だが、令和2年度は、コロナ禍のため、講師を本学に迎えることができず、本務校(金沢大学)からGoogle Classroomを利用したオンデマンド方式での研修会となった。結果として、内容はもちろん、開催方法も高い評価を得た。

そのため、今年度については、企画段階からオンデマンド方式での実施を前提に、講師については、部会メンバーが適任と思われる教員を推薦することとした。幸い、推薦された2名の教員から快諾を得ての実施となった。

まず、総合政策学科の水ノ上智邦准教授による「反転授業の実践報告『開発経済学』」が行われた。2012年度から採用された「反転授業」について、その成果を含め、具体的に分かりやすく説明された。

大学教育学会は、F Dを全国の大学等に普及させたことで知られるが、学会のF D研究を牽引してきた溝上慎一・横浜桐蔭大学学長は、「20年前アメリカで始まった反転授業が、日本にも紹介されて約10年が経つ。すでに理論的・実践的な紹介はし尽くされた感がある。有用性に対して批判的な声は少ないものの、実践が一般的に普及していない原因は、オンデマンドの予習教材を作成する教員の技術的・心理的ハードルにあったと考えられる。しかし、コロナ禍の経験を経て、現在多くの教員はオンデマンドの教材の作成に一定程度習熟した状態である。取組の一般的普及が期待される」と指摘する

(溝上「ハイブリッドな学びと大学教育のイノベーション」『IDE現代の高等教育』第635号2021年11月、11頁)。

水ノ上准教授が、自身がその授業内容に思いを込めた「開発経済学」について、手応えが得られなかったことから、新たな授業方法として導入された反転授業は、国内でも早期の取り組み例とされる。それが十年続き、学内で共有されることになった。学外から講師を呼ばずとも、地道に努力を続けている学内教員の成果報告の場となるのは、理想的な全学FD研修会と言える。必要に応じた反転授業の実施を、部会としても後押ししたい。

そして、全学FD研修会のもう一つの報告は、理学療法学科の近藤慶承准教授による「多学科連携講義におけるサテライト型リモート講義」であった。

全学必修科目「文理学」における、薬学部、食物栄養学科、看護学科、理学療法学科、人間福祉学科および口腔保健学科の授業を、近藤研究室をスタジオにし、三教室で292名(韓国からオンライン参加の留学生2名を含む)が受講し、「理想の大学or病院を作ろう」というテーマで、グループ・ディスカッションをするという内容であった。

ディスカッション時には、従来から使用されてきたKJ法を、Jamboardというアプリを使って行うなど、各自の意見の視覚化や結び付けで工夫がなされた。発表された各グループのプレゼンは、最終的に学生たちの投票によって評価が行われた。

近藤准教授は、特色ある教育・研究の研究費で購入した30台のタブレットPCを各グループに一台ずつ用意されるなど、入念な準備と完璧なリモート体制で90分間を乗り切られた。

さて、令和3年度全学FD研修会の二つの報告は、いずれも、三密を避けながら、グループワークを実施することにこだわったところに、共通点を持つ。先に引用した溝上論文は「ニューノーマルとして最も期待される反転授業」と位置付けているが、9学部27学科を擁する本学において、学科連携授業もまた、これからのスタンダードと考えられる。令和4年度は心理学科の一年生も受講生に加わるとのことであり、やがては、徳島と高松という隣接県都を結ぶ医療系全学科連携講義も夢ではないだろう。

こうして、講師が学内教員の全学FD研修会は、授業の内容と方法の「改善を図るための組織的な研修」のニューノーマルとなったと評価できる。

②令和3年度のもう一つの新たなFD活動は、全学生対象の新たなアンケート「学修状況アンケート」の試行である。

令和4年1月11日に始まったアンケート回答は、締め切りが卒業予定者は3月18日、それ以外の在学生在が4月8日であったため、現時点ではまだ詳細な分析はできていない。アンケートの意義と、自由記述に見られる傾向をここに記すことにする。

授業科目ごとの振り返りは、全学授業アンケートで求めてきた。その結果は、授業担当教員が、自らの授業方法・内容を振り返り、次年度の授業設計の改善につなげるといふFDの成果を生んできた。開講されているほとんどの科目は、先輩たちの授業アンケート結果を踏まえたものである。だが、再履修をせざるを得なかった学生を除けば、実際にどれだけ自分たちの声を活かして、どれだけ改善された授業になったのかは体験できない。間接的には後輩学生のために役立つが、主として教員のためのアンケートでし

かないことは事実である。学生たちの学びそのものに、どれだけの意味があるアンケートなのか、ということあまり意識されてこなかった。

また、授業アンケートは、そもそも、卒業に必要な単位の中での位置づけからすれば、必修科目であっても、多くの科目は2単位だけのことである。これに対して、カリキュラムポリシーにもとづいて結びつけられた多くの科目からなる正規授業と、それ以外の非正規科目を含む学内外の一年間の学び全体を対象にした、新たなアンケートが学修状況アンケートである。

学生たちに一年間の自身の学修全体を自ら振り返ってもらうために、記載された選択肢を選ぶ19の設問があり、自由記述での回答を求めた2問で終わる。卒業予定者を含む全ての学生を対象にして、試行とはいえ、対象学生の56.1%、2416名が回答してくれた。

あくまで1050名ほどが回答済みの途中集計の結果でしかないが、自由記述「この一年間に本学で体験した最も印象に残ったこと」において、既に興味深いデータが得られている。

すなわち、「実習」にまつわる回答が163、「試験」が34（うち国家試験が6）、「オンライン授業」「リモート授業」が併せて29、「図書館で多くの本や新聞を読んだこと」や「新聞や図書館の書籍を活用したレポートの作成」など「図書館」29、「実験」に関するものが27、となっている。この他に、「ボランティア」が36、「大学祭」10を含めた「サークル活動」が43、そして「イルミネーション」が29となっている（「留学」はわずか3）。

実習や実験がある学科では、最も印象に残るのが「実習」・「実験」になるのは、当然かもしれない。「図書館」という答えが、リモート授業や試験などと同数なのは、予想外であった。「ボランティア」と書いた36名の学生には、コロナ禍でよくぞ頑張ったと誉めてあげたい。「大学祭」と回答した10名も同様である。そして、「イルミネーション」と答えた学生29名については、回答時期に点灯されていたからとも想像できるが、卒業予定者学生生活満足度アンケートの自由記述欄に、イルミネーションに使うお金は他のことに回すべきという意見が毎年のように書かれているのを知っているの、複雑な気持ちになる。

こうして、全学FD研修会と学生アンケートという、車の両輪にも例えられるだろう事業に、新たな時代が到来したと思われる。令和4年度の全学FD研修会と学修状況アンケートに注目してほしい。

### 3. 研修会

#### 3-1 現状

本学FD研究部会の取り組みとして、教育に関する研修会の開催がある。これらは、主に「学内研修会」「学外研修会」「新任・昇任教員研修会」の3つの形で展開している。

本年度実施した学内でのFD研修会は3回で、下記(1)に示すとおりである。第1回FD研修会は、大学教育の根本に関わる大人数教育について、第2回FD研修会は、スモールグループディスカッション(SGD)を基本としたアクティブラーニングを用いた演習形態の評価に関わるルーブリックの作成について行われた。第3回FD研修会は全教員対象で、本学において、新しい取組を行っている講義・演習について、2名の先生の発表コンテンツについてGoogle Classroomを介して配信し、さらにアンケート回答の形式で行われた。また、(2)は例年夏季に開催されている学外での研修会であり、昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催が中止されたが、本年度は開催された。そして、(3)は今年度を実施した新任・昇任教員研修会であるが、第1回新任・昇任教員研修会は、本学で使用しているGoogle Classroomについて実施した。第2～4回新任・昇任教員研修会は、第1～3回FD研修会を兼ねている。

#### (1) 学内研修会

##### 第1回FD研修会（SPOD遠隔配信・第2回新任・昇任教員研修会）

- ・日時：9月7日（火）10:00～12:00
- ・演題：「大人数講義法の基本」
- ・講師：上月 翔太（愛媛大学 教育企画室）
- ・実施方法：Zoom 接続にて実施する。
- ・受講者：徳島キャンパス 17名、香川キャンパス 5名 合計 22名

##### 第2回FD研修会（SPOD内講師派遣プログラム・第3回新任・昇任教員研修会）

- ・日時：9月10日（金）13:30～15:00
- ・演題：「ルーブリック作成入門」
- ・講師：飯尾 健（徳島大学 高等教育研究センター 教育改革推進部門 助教）
- ・実施方法：Zoom 接続にて実施する。
- ・受講者：徳島キャンパス 16名、香川キャンパス 9名 合計 25名

##### 第3回FD研修会（全学FD研修会・第4回新任・昇任教員研修会）

- ・日時：9月21日（火）～10月30日（土）
- ・内容：授業改善に関する実践例報告
- ・発表者：・保健福祉学部理学療法学科 近藤 慶承 先生  
・総合政策学部総合政策学科 水ノ上 智邦 先生
- ・実施方法：Google Classroom上で配信し、視聴後にアンケートに回答する。
- ・受講者：徳島キャンパス 231名、香川キャンパス 103名 合計 334名

## (2) 学外研修会（SPOD：四国地区大学教職員能力開発ネットワーク）

### SPODフォーラム 2021

- ・全体テーマ：「New Normal の大学教育を考える」
- ・開催日：8月25日(水)～27日(金)
- ・開催方法：オンライン（Zoom）開催
- ・8月26日(木)15:00～17:00のシンポジウム  
テーマ：「コロナ後の世界／大学教育はどう変わっていくか？」  
講師：大森 昭生（共愛学園前橋国際大）、喜久里 要（早稲田大）、  
佐藤 浩章（大阪大）

## (3) 新任・昇任教員研修会

- ・対象教員：徳島キャンパス 19名 香川キャンパス 4名 合計 23名
- ※昇任教員は、助教・講師に昇任された先生の内、これまで研修を受講されていない先生
- ・研修回数：4回であるが、そのうち3回はFD研修会と同時開催

### 第1回新任・昇任教員研修会

- ・日時：4月当初
- ・内容：学習支援システム Google Classroom を利用した遠隔配信授業について
- ・実施方法：①新任教員には、資料及び参考図書（今すぐ使える！ Google for Education）を、新任教職員研修会（総務部主催：4月3日(土)）にて配付する。昇任教員には、個別に配付する。  
②資料及び参考図書を参考にしながら、各自で研修する。  
③希望者は、体験型の研修を受講する。（4月中）

### 第2回新任・昇任教員研修会（第1回FD研修会と同時開催）

- ・日時：9月7日（火）10:00～12:00
- ・演題：「大人数講義法の基本」
- ・講師：上月 翔太（愛媛大学 教育企画室）
- ・実施方法：Zoom 接続にて実施する。

### 第3回新任・昇任教員研修会（第2回FD研修会と同時開催）

- ・日時：9月10日（金）13:30～15:00
- ・演題：「ループリック作成入門」
- ・講師：飯尾 健（徳島大学 高等教育研究センター 教育改革推進部門 助教）
- ・実施方法：Zoom 接続にて実施する。



#### 第4回新任・昇任教員研修会（第3回FD研修会と同時開催）

- ・日時：9月21日（火）～10月30日（土）
- ・内容：授業改善に関する実践例報告
- ・発表者：・保健福祉学部理学療法学科 近藤 慶承 先生  
・総合政策学部総合政策学科 水ノ上 智邦 先生
- ・実施方法：Google Classroom上で配信し、視聴後にアンケートに回答する。

#### 3-2 点検・評価

上記の現状整理の通り、本年度の研修会についても昨年度同様に開催形式、開催内容ともに新型コロナウイルス感染拡大の影響を色濃く受けたものとなった。第1、2回FD研修会の参加者数は少ないものの、新任・昇任教員研修会を兼ねていることから、新任の先生の参加が目立っていた。アンケート結果から、概ね新しい講義法、評価法について習得できたことが窺える。少数ではあるが、対面での研修を望む意見や、研修時間が足りないとの意見があった。

SPOD加盟校を対象としたSPODコア校主催研修会として7月3、4日に愛媛大学で開催された「第35回授業デザインワークショップ」（オンライン開催）に保健福祉学部理学療法学科 長田 悠路先生が参加し、アクティブラーニングでの講義および演習方法の構築に関するスキルアップについて報告いただいた。新任・昇任教員研修会については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、新任教員に資料を配付し、希望者には対面で説明会を行った。

#### 3-3 改善計画（改善点）

上述の様に、FD研究部会での議論と工夫を重ね、マンネリ化しないように毎年、新しい研修内容が企画されている。特に、本年度は本学で特色ある講義および演習を展開されている2名の先生の発表についてアンケートを回収したところ、多くの先生からの意見が挙がった。これらのアンケート結果を参考に、本学の新しい講義・演習スタイルの構築にFD研修部会が関与できればと考える。また、別の研修会でのアンケート結果において、対面の研修ならびに研修時間の不足が記されていることから、十分な感染対策下における対面での開催、ならびに研修時間を吟味する必要がある。

## (SPODコア校主催研修会参加報告書)

愛媛大学「第35回授業デザインワークショップ」(7月3日・4日)参加報告

保健福祉学部理学療法学科 長田 悠路

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク(SPOD)および愛媛大学教育企画室主催の「授業デザインワークショップ」に参加しました。研修は2日間(両日とも9:00~17:00)すべてオンラインで実施され、Zoomを用いた講義とグループディスカッションが行われました。主な参加者は若手教員が多く、ほとんどが授業の担当経験が少ない5年目以下のテニユア育成教員などでした。参加者数は20名の定員に対して23名であり、例年非常に人気の高い研修であるようです。

研修の目的は「学生の学習を促すシラバスを書くことが出来る」「学習目標に適した授業・評価方法を選べるようになる」「アクティブラーニングを取り入れた90分の授業を組み立てることが出来る」であり、講義の聴講だけでなく、研修内で自分のシラバスの提示と、模擬授業(15分)も課されました。そのため、事前学習としてオンデマンド動画の視聴と、プレゼン用のシラバス・模擬授業資料の作成が求められました。自分のシラバスの内容や、模擬授業の流れ、話し方などに対して他の教員らからコメントをもらうのは初めての経験で、色遣いや話口調、スライドのストーリーの組み立て方など、自分では気が付かないような改善点が明らかになりました。他の教員のプレゼンから得られる発見も多く、授業デザインの引き出しが増えたように思います。

具体的な講義の内容については、アイスブレイクの具体的なテクニックから始まり、学生の興味・注意を持続させるために90分の講義をどのように構成するか、事前学習・事後学習をどう活用してその日の授業の導入をスムーズにするか等を聴講しました。

学習者の学びを促進するためには、書く、話す、発表するなどの活動への関与が重要だというアクティブラーニングの概念は周知のとおりです。しかし、本研修に参加する前は具体的にどう自分の授業に組み入れたらよいのか難しく感じていました。今回の研修では、「まず説明し、発問を行い、個人で考えさせ、隣同士で話し合い、全体に紹介する」という流れを具体的に学びました。学生の集中力は15分で切れてしまうため、頻繁に発問やディスカッションを入れる必要があります。また、8分に1回は情報を伝えることをやめ、内容を理解する時間をとることが大事なようです。加えて、急に授業を始めない/終わらない、ということも言われており、導入は丁寧に学生のモチベーションを高める内容(理学療法学科であれば国試の例題提示から入るなど)を行い、授業の終わりには必ず授業のまとめや次の授業の紹介を話すようにとのことでした。ただし、そうすると講義時間が足りなくなってしまうため、それは事前・事後学習課題を工夫する必要があります。どうしても詰込み型の授業になりがちですから、学習目標に合わせてテストを作成し、そこから逆算して授業を組み立てる必要があることを学びました。

今回の研修は例年対面で実施しているとのことでしたが、今回はオンラインでの開催でしたので、移動・宿泊・懇親会がなく効率的に学習することができました。オンデマンド動画もとても分かりやすく、研修会後も視聴して復習できたのもよかったです。本研修は経験の浅い教員だけでなく、多くの教員にとって自分の授業を見つめなおす良い機会になると感じました。

## 4. 全学授業アンケート

### 4-1 現状

本学では平成 20 年度以降、授業改善のための基礎資料を収集する目的でアンケート形式により学生の授業評価を実施してきた。平成 25 年度からはハイブリッド授業評価アンケート方式を導入した。すなわち、学生による授業評価と、担当教員による評価結果に対するコメントと翌年度授業への対応記載という、学生と担当教員の双方が関与する方式として、継続してきた。令和元年度に、FD委員会による授業評価アンケートの再検討が行われ、「全学授業アンケート」と名称を変更し、以下に示す2つの目的に資するデータを得るべく、実施している。

- (1) 学生自身の学びの振り返り・自己評価に基づく、学習態度・方法の改善
- (2) 受講生全体の自己評価の確認に基づく、教員の授業内容・方法の改善

### 4-2 点検・評価

#### (1) アンケートの実施状況

学生のアンケート対象者数、回答数および回収率を表1に示す。  
アンケートの実施スケジュールは以下のとおりである。

前期：学生アンケート 7月12日(月)～8月31日(火)  
集計結果の公開 9月2日(木)～  
教員コメント 9月2日(木)～10月30日(土)  
集計結果・教員コメントの公開 11月1日(月)～  
後期：学生アンケート 1月11日(火)～2月18日(金)  
集計結果の公開 2月21日(月)～  
教員コメント 2月14日(月)～3月18日(金)  
集計結果・教員コメントの公開 3月19日(土)～

表1 授業アンケート実施状況 (令和3年度)

	前期			後期		
	対象数	回答数	回答率(%)	対象数	回答数	回答率(%)
全 体	46,937	31,755	67.7	44,361	28,674	64.6
有効回答数および回答率	(31,486)	(99.2)		(28,396)	(99.0)	

#### (2) 教員によるフィードバックの状況

教員によるフィードバックである教員コメントの記入率は表2に示した。

表2 教員コメントの記入率 (令和3年度)

	前期	後期
全 体	66.5%	66.5%

前年度と同様に計画を行い、入力状況を踏まえ一部入力期間を延長した。授業アンケートの集計結果と教員コメントの開示範囲は学内のみとし、開示期間はコメント記入期間の約1週間後から1年程度とした。

なお、今回も令和2年度と同様に、学生回答率の母数となる『履修登録している学生の総数』について、前期分は令和2年5月時点、後期分は12月時点に教務システムに登録されている履修登録数の総数を母数とした。また、教員回答率の母数となる『教員の担当科目数の総数』について、前期分は令和2年5月時点、後期分は12月時点に教務システムに登録されている教員の担当科目数の総数を母数とした。

また、開講科目の中で受講している学生が5人以上の科目に対して、学生が授業アンケートに回答している科目がどの程度であるかの集計を新たに実施したところ、表3のような結果となった。ほぼすべての科目で学生は回答していることがわかったが、学生が回答していない科目が少なからずあるので、この点に関して改善を図る必要がある。

表3 授業アンケート回答状況：5人以上の開講科目数（令和3年度）

	後期			後期		
	開講科目数	回答科目数	回答率(%)	開講科目数	回答科目数	回答率(%)
全体	2,008	1,881	93.7	1,887	1,846	97.8

#### 4-3 改善計画（改善点）

本年度の学生対象者数に対する学生回答率は、前期 67.7%（前年度 59.2%）、後期 64.6%（前年度 62.1%）であり、後期はやや回答率の低下がみられた。後期の実施期間は、新型コロナウイルス感染症への対策として、遠隔授業期間と重なったため、学生へのアンケート協力の周知が不徹底となったことが影響したと思われる。他方、5人以上の開講科目数の回答率で見ると、前期 93.7%、後期 97/8%の高い回答率であった。少人数の科目を除けば、90%以上の高い回答率であることが分かった。

教員のコメントの記入率では、前期 66.5%（前年度 73.5%）、後期 66.5%（前年度 69.6%）であった。前期、後期ともに回答率自体はおおむね 60%に達しており、総合的には大過なく実施できたと思われる。

本年度から第1クォーターや第3クォーターの受講学生にも、受講期間中にアンケートの回答を実施できるよう「早期モード」機能を追加した。現行の授業アンケートシステムは令和元年度から利用しているが、第1、第3クォーターや実習系の授業では学期末での回答指導が困難との指摘があった。そこで、この課題を解決すべく本年度より機能拡張を図り「早期モード」機能を追加した。

この「全学授業アンケート」が、学生自身の学習の振り返りと今後の学習強化ならびに本学の教育の質の向上に寄与できるようにしなければならない。そのために、アンケート回答率のアップを目指し、学生および教員への徹底した周知を図る必要がある。今後、さらに内容・実施方法等についても議論を重ね、より良いものにしていきたいと考えている。

## 5. 研究授業

### 5-1 現状

「研究授業」の実施は、平成 20 年度後期より徳島・香川両キャンパスの全学部・学科において実施しており、今年で 14 年目となる。

今年度の研究授業実施は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、コロナ禍においても可能な方法も含め研究授業を実施する一年となった。

令和 3 年度に実施された「教員相互による授業参観型」の研究授業は、徳島キャンパスで 9 科目（前期 1 科目、後期 8 科目）、香川キャンパスは実施なしとなった。

#### (1) 目的

「教員相互の授業参観型」は、研究授業開始以降、実施され続けている形である。教員が授業を参観することにより授業改善のために参考になるもの、取り入れられるものを見つけ、自分自身の授業に活かしていくことを目的としている。各教員の教授法の向上と学生の理解力や思考力の向上をめざしており、授業担当者の教授法に対し悪い点を指摘するためのものではない。

「目標設定型」は平成 24 年度より導入している。あらかじめ教授方法や授業運営上の改善点を設定し、定めた期間の中で調査・研究を行うものである。効果的な授業技術の掘り起こしとそれらの共有が主な目的となる。

#### (2) 実施方法

各学部及び学科は、「教員相互による授業参観型」「目標設定型」のどちらか、もしくは両方の研究授業を選択することができる。年間の実施頻度は各学部及び学科に委ねている。昨年度に引き続きコロナ禍での実施となった今年度は、従来通りの「教員相互による授業参観型」「目標設定型」に加え、遠隔配信授業となる状況においてはオンライン研究授業も含め、研究授業を実施するか否かの判断そのものを各学部及び学科に委ねた。

対面による「教員相互による授業参観型」の場合は、学期始めに各学部及び学科の授業担当者と研究授業を補助する授業協力者を定め、授業担当者は研究授業を対象とする科目及び実施日を決める。実施科目と実施日についてはFD研究部会が情報をまとめ、事務局が「研究授業予定」一覧表を作成し全学の教員に周知した。

参観範囲は、所属学科に限らずどの科目も参観可能である。研究授業の進行及び記録は授業協力者（あるいは学部、学科の評価・FD委員会）が行い、原則として1講時90分の内授業開始から60分を授業参観とし、残りの30分を授業担当者、授業協力者及び授業参観者による意見交換会の時間とした。意見交換会では「(1) 目的」にある研究授業の主旨に基づき討議を行った。研究授業実施後は、2週間以内に別紙の様式（図1）に授業担当者と授業協力者（あるいは学部、学科の評価・FD委員会）によって、研究授業記録を作成することとした。研究授業記録はFD研究部員を通してFD研究部会へ提出される。

また、コロナ禍になってから実施されているオンライン研究授業は、Google Classroom を用いた研究授業である。事前に周知されている「研究授業予定一覧表」の「教室/クラスコード」にあるクラスコードを使って入り、当日、教員は自由に Google Classroom 上で参観できるようになっている。

研究授業（教員相互の授業参観）記録			
学 部		学 科	
授 業 者		科 目 名 (シラバス番号)	( )
授業協力者		実施教室	
実施日時	平成 年 月 日 曜日 講時		
対象学生		受講学生数:	名
履 修 生			
授業テーマ			
研究授業内容自己評価			
研究授業参観者の意見・感想			
授業参観教員数	名		

研究授業（目標設定型）記録			
学 部		学 科	
実施代表者			
実施期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日		
目標の説明			
対象学年 または科目	受講学生数: 名		
具体的な取組み方法			
結果			
協力教員数	名 (内訳 )		

図1 研究授業記録様式

## 5-2 点検・評価

表3に、今年度と過去9年間の学部、学科別の研究授業実施数と参観者数の推移を示す。今年度の年間研究授業実施数は9科目であり、昨年度と比較すると減少したが、年間参観者総人数は増加した。

研究授業の実施は、基本的には昨年度と変わらない実施方法、評価方法となった。「教員相互による授業参観型」は今年度も引き続きコロナ禍の影響はあったものの、全国的に感染者が減った時期と重なる後期から研究授業を実施する学科が増えた。前後期共に実施した学科は看護学科のみであった。

オンライン研究授業は前期に看護学科から1科目の実施が報告されている。Google Meet を用いており、参観教員は事前に周知されているクラスコードを使い授業に参加した。

表3 学部、学科別の研究授業実施数と研究授業の参観者数(名)の推移

年度	平成24 2012		平成25 2013		平成26 2014		平成27 2015		平成28 2016		平成29 2017		平成30 2018		平成31 2019		令和2年 2020		令和3年 2021	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
年間研究授業実施数	17	16	11	17	4	15	18	15	10	18	10	16	10	21	7	17	6	5	1	8
香川薬学部	25、22、26、19、25、26		15		13		22		27		20		17		23		8			
日本文学	9				9		9				7									
英語英文化			3		4				2		3				3					
文化財	5		23				5		5		3		6(6ヶ月分以内)		3					
宿泊セミナー	14		8		6		5、4		4、5		4		5							
学部内合計	19	9	11	23	15	4	14	9	11	5	3	15	14	3	3	3				
機械創造	6		4		2		5		4		3				1					
電子情報	目標設定型		目標設定型		目標設定型		3		6		3		2							
ナノ物質	4		5		目標設定型		目標設定型		10		6		目標設定型		目標設定型					
学部内合計	5	2	7	4	7	7	未提出	8	4	4	4	8	7	2	4	11				8
薬学部	1		2		2		3		3		3		2		1		5			
人間生活	4		2		1		4		1		7		7、8		3					
食物栄養	2		1		2		2		3		4		1		3					
心理	1		2		2		5		1		4		3		3					
児童	目標設定型		目標設定型		1		4		1		2		2		4					
実行行サイ	5		2		1		3		2		2		2		2					
建築学	6		9		9		17		8		15		1		4		10			
学部内合計	8	4	5	6	6	6	5	10	3	3	6	2	3	2	2	2				
総合政策学部	3		3		0		2		1		3		2		2					
音楽学部	8		6		6		0		5		6		2		2					
臨床工学	7		5				5				3		0		5					
診療放射線	1		1		1		1		4		4		3		2					
人間福祉	3		2		0		1		0		1		2		0		6科目合計6名		2	
理学療法	8		8		8		9		7		8		5		4		17		10	
看護	20		16		15		11		18		13		9		4					
口腔保健	23		15		13		11		11		13		12		4		14			
学部内合計	139	119	62	80	30	54	69	89	58	74	62	65	50	75	40	65	6	29	17	42
前・後期別 参観者数	258	119	142	80	84	54	158	89	132	74	127	65	125	75	105	65	35	5.8	17.0	5.3
年間参観者総人数	8.2	7.4	5.6	4.7	7.5	3.6	4.6	4.9	5.8	4.1	6.2	4.1	5.0	3.6	5.7	3.8	1.0	5.8	17.0	5.3
1科目当たりの参観者数																				
短期大学部																				
生活科学																				
商科																				
言語コミュニケーション																				
音楽																				
学部内合計																				
前・後期別 参観者数																				
年間参観者総人数																				
1科目当たりの参観者数																				

表4には、各学科の授業参観による参観者の意見を一部抜粋したものを示している。各学部及び学科から提出された報告書によれば、「授業内容に合わせた、学生の理解度を深めるための授業の流れの工夫（予習・確認テスト等）はとても参考になった。」との意見の他、「教師の視点で行う活動があってもよいのかと思った。」等といった、今後に向けられた意見も出されていた。

また、薬学部では、現在の状況下における研究授業実施のために、教員が講義室に入らずとも研究授業に参加できるよう、オンデマンド配信の活用を試みたとの報告を受けている。研究授業担当教員は講義を録画し、後日 YouTube 限定配信によって講義動画のアドレスを研究授業参加希望の教員に送信した。視聴期間は1週間程度とし、その後研究授業担当教員に意見を伝えるというものである。研究授業の講義時間に参加できない場合、後日都合の良い時間に視聴できることがメリットとなる。

表4 各学科の授業参観による参観者の意見と目標設定型の研究授業の効果

[教員相互による授業参観型] 各学科の授業参観による参観者の意見 研究授業報告書より一部抜粋：●好意的な意見 ■改善を求める意見（なお、全記録は別CD資料）
<p>(薬学部薬学科)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 図を多用することで、人体の構造（骨格筋）について視覚的に学習することができるので学生には非常に理解しやすいと感じた。</li> <li>■ 板書の文字も大きく見やすいが、スピードが少し速く感じられ（消去の）、ついていけない学生がいるかもしれない。</li> </ul>
<p>(人間生活学部児童学科)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読練習では、ゲーム感のある指示で学習を進め積極性を引き出していた。</li> <li>■ 教師の視点で行う活動があってもよいのかと思った。</li> </ul>
<p>(人間生活学部食物栄養学科)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ プリントは紛失するので、教科書に直接書き込ませた方が良い。国家試験対策時にも使用することができる。</li> </ul>
<p>(人間生活学部メディアデザイン学科)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 海外から受講している留学生のために、様々な工夫が凝らされていることが分かった。</li> </ul>
<p>(人間生活学部心理学科)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 事前準備（質問を集めて授業協力者に渡しておくなど）が十分になされていた。</li> </ul>
<p>(保健福祉学部看護学科)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 授業内容に合わせた、学生の理解度を深めるための授業の流れの工夫（予習・確認テスト等）はとても参考になった。</li> </ul>
<p>(保健福祉学部人間福祉学科)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学生同士でコメントし合うことで、しっかりと聴き、相手のプラス面に目を向ける力や自分と比較して考える力、またコメント力の向上につながっている。</li> <li>■ ほぼ全員の学生が、急な遠隔配信授業に対応できていた。Meet を利用しての授業であったが、事前に参加できるか否か、確認が必要だったかもしれない。</li> </ul>
<p>(短期大学部保育科)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本時の位置づけ、学習内容、目標が明確だった。また、起承転結の構成が確立していた。</li> </ul>



### 5-3 改善計画（改善点）

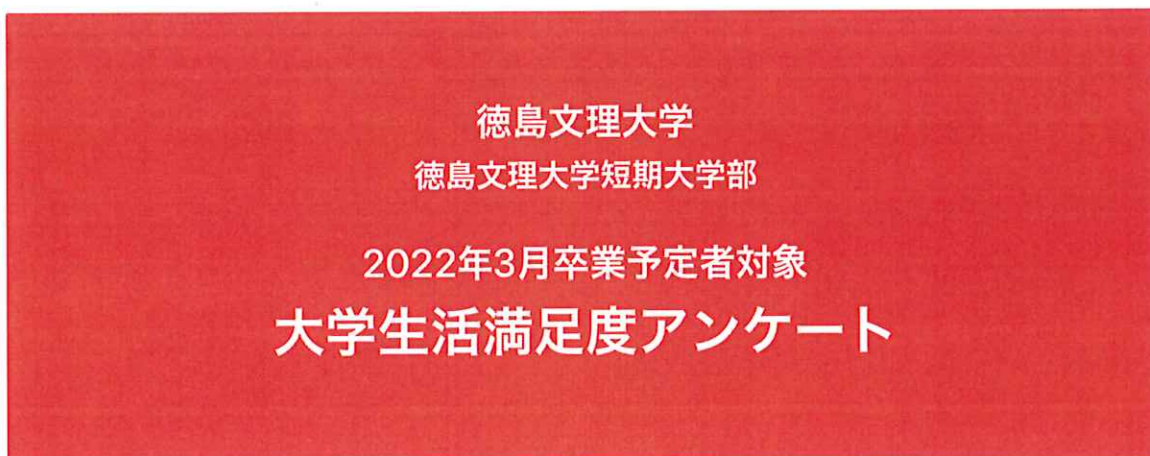
次年度も引き続きコロナ禍の状況が続くことを予想し、感染者数の状況を見ながら研究授業の実施を継続していきたい。対面で行われる従来通りの実施とオンラインによる実施を併用し、各学科の状況に委ねながら実施していく。

今年度薬学部において実施されたオンデマンド配信を活用した研究授業の実施は、従来の対面もしくはオンライン上での「教員相互による授業参観型」とはまた違った実施方法である。講義時間内に滞在しないといけないわけではなく、後に期限内に自由に視聴し意見を報告することになるため、気軽に視聴しやすい。次年度、全学部及び学科に向けてこのような実施方法を促していくとなれば、新たな研究授業の取り組み、さらには教員の研究授業参加人数の増加にもつながることが期待される。これらの件については、次年度の検討事項としていきたい。

## 6. 卒業予定者対象・大学生生活満足度アンケート

### 6-1 現状

本学では、卒業生（正確には、卒業時の学生に対する）を対象とした満足度評価アンケートを平成 21 年度から継続的に実施している。卒業生満足度評価アンケートは、学生が卒業時に、入学時から卒業までの期間における学生生活の振り返りをとおして、学生からの本学の教育に対する評価を受け、教育の充実と改善に資する資料を得ることを目的に行われ、外部への情報発信の役割も併せ持つものである。



今年卒業（修了）される学生を対象に実施しています。最終学年以外の方の回答はご遠慮ください。

この調査は2022年3月に修了される皆様に、本学での学生生活を振り返っていただき、教育内容や施設、学生生活などについての意識を知るためのものです。

集計結果は本学の教育の充実と改善を図るために役立てます。大変お手数ですが、以下のアンケートに回答をお願いいたします。

【重要】回答者の学籍番号は回答の重複を防ぐために利用するだけで、最終的には誰がどのような回答をしたのかはわからないように集計します。安心して真摯な回答をお願いいたします。

本システムの利用にはログインが必要です。  
学生ポータルサイトの利用時と同じログインIDとパスワードを入力してください。

【学籍番号】(例：165200)

【パスワード】

ログイン

【回答時の連絡事項】

- (1) 回答できるのは1回だけです。回答後に回答内容の変更はできません。
- (2) 自由記述欄に誹謗中傷的な記入はおやめください。このような記入があった場合には回答を削除することがあります。

令和3年度の実施において、このアンケートの質問項目を3ヶ所変更した。変更した箇所を表6-1に示す。

表6-1 変更された質問項目

	変更前	変更後
1	Ⅲ-1 履修登録の支援は役に立ちましたか	<削除>
2	Ⅲ-7 生活や健康に関する悩みがあった場合、相談できる体制は整っていましたか	困ったことがあった場合、相談できる体制は整っていましたか
3	<追加>	Ⅳ-1 入学時の夢をかなえることができましたか

表6-1中の1については、過去の集計結果よりこの質問項目が卒業生の満足度との相関があまり見受けられないこと、今年度から開始される学修状況アンケートで尋ねることが適切という判断で削除されることになった。2については、「生活や健康に関する悩み」と限定するのではなく、学習を含めた困りごとがあった場合に相談できたかという、これまでより対象範囲を広げるように表現を変更した。3については、これまでⅣで尋ねてきた主観的な評価だけでなく、客観的な要素を取り入れた質問項目を追加した。多くの学生は何らかの夢や目標を抱いて入学するのであるから、卒業時にこの評価を尋ね、実状を把握したい。

このアンケートの回答画面のスクリーンショットを図6-2から図6-6に示す。

回答者（あなた）についてお尋ねします

性別を教えてください【必須】

- 女性
- 男性

現所属学科の在籍年数を教えてください【必須】

- 1年
- 2年
- 3年
- 4年
- 5年
- 6年
- 7年
- 8年
- 9年以上

卒業後の進路（回答時の状態）について教えてください【必須】

- 就職
- 進学
- 未定

あなたの成績について教えてください【必須】

- いちばん多かったのは「優」だと思う
- いちばん多かったのは「良」だと思う
- いちばん多かったのは「可」だと思う

図 6-2 アンケート回答画面（1/5）

授業・教育課程についてお尋ねします（全体として）

授業科目は充実していましたか〔必須〕

- そう思う
- ややそう思う
- どちらでもない
- ややそう思わない
- そう思わない

授業や実習内容はわかりやすかったですか〔必須〕

- そう思う
- ややそう思う
- どちらでもない
- ややそう思わない
- そう思わない

専門的な知識や技能（免許・資格を含む）を修得できましたか〔必須〕

- そう思う
- ややそう思う
- どちらでもない
- ややそう思わない
- そう思わない

教育に対する熱意は感じられましたか〔必須〕

- そう思う
- ややそう思う
- どちらでもない
- ややそう思わない
- そう思わない

授業以外の指導（学外実習、見学、補習など）は充実していましたか〔必須〕

- そう思う
- ややそう思う
- どちらでもない
- ややそう思わない
- そう思わない

課題（宿題やレポートなど）の量は適切でしたか〔必須〕

- そう思う
- ややそう思う
- どちらでもない
- ややそう思わない
- そう思わない

図 6-3 アンケート回答画面（2/5）

大学の設備および支援体制についてお尋ねします（全体として）

就職や進路についての相談・支援は役に立ちましたか【必須】

- そう思う
- ややそう思う
- どちらでもない
- あまりそう思わない
- そう思わない

図書館は利用しやすかったですか【必須】

- そう思う
- ややそう思う
- どちらでもない
- あまりそう思わない
- そう思わない

学内のPCやWi-Fiサービスは利用しやすかったですか【必須】

- そう思う
- ややそう思う
- どちらでもない
- あまりそう思わない
- そう思わない

授業や実験・実習に必要な設備は整っていましたか【必須】

- そう思う
- ややそう思う
- どちらでもない
- あまりそう思わない
- そう思わない

食堂や売店・コンビニに満足していましたか【必須】

- そう思う
- ややそう思う
- どちらでもない
- あまりそう思わない
- そう思わない

困ったことがあった場合、相談できる体制は整っていましたか【必須】

- そう思う
- ややそう思う
- どちらでもない
- あまりそう思わない
- そう思わない

図 6-4 アンケート回答画面（3/5）

<b>キャンパスライフについてお尋ねします</b>
<b>キャンパスは清潔でしたか [必須]</b>
<input type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> ややそう思う <input type="radio"/> どちらでもない <input type="radio"/> ややそう思わない <input type="radio"/> そう思わない
<b>課外活動（部活やイベントなど）に満足しましたか [必須]</b>
<input type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> ややそう思う <input type="radio"/> どちらでもない <input type="radio"/> ややそう思わない <input type="radio"/> そう思わない
<b>頼りになる教員に出会えましたか [必須]</b>
<input type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> ややそう思う <input type="radio"/> どちらでもない <input type="radio"/> ややそう思わない <input type="radio"/> そう思わない
<b>よき友と出会えましたか [必須]</b>
<input type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> ややそう思う <input type="radio"/> どちらでもない <input type="radio"/> ややそう思わない <input type="radio"/> そう思わない

図 6-5 アンケート回答画面 (4/5)

総合評価をお尋ねします

入学時の夢をかなえることができましたか【必須】

- そう思う
- ややそう思う
- どちらでもない
- あまりそう思わない
- そう思わない

総合的にみて、本学での学生生活はよかったですか【必須】

- そう思う
- ややそう思う
- どちらでもない
- あまりそう思わない
- そう思わない

知り合いの高校生に本学への進学を勧めたいと思いますか【必須】

- そう思う
- ややそう思う
- どちらでもない
- あまりそう思わない
- そう思わない

本学で良かった点（カリキュラム、設備、お世話になった教員・スタッフ名など）を具体的にお書きください（2000字以内）

ご要望・ご意見・改善案などをお書きください（2000字以内）

回答が終わったらここを押してください  
確認画面に移ります

徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部

図 6-6 アンケート回答画面（5/5）

令和3年12月度の定例合同教授会において、これまでと同様に卒業予定者に対して大学生生活の満足度アンケートを実施することを告知し、同時に回答用のシステムをスタンバイさせた。回答期間については各学部・学科に委ねることにしていたが、原則として香川キャンパスでの卒業証書授与式の翌日まで（2021年3月18日）とした。該当する学生に対しては、大学事務より1月上旬に電子メールにて回答を依頼した。さらに、各学部・学科の担当教員からも学生に対して適宜回答を依頼した。このとき、回答状況がリアルタイムでわかるようにしている（図6-7）。このシステムは各学科（部局）の回答者数を閲覧することができ、さらに回答数のところをクリックすると回答を済ませた学籍番号のリスト一覧が閲覧できるようになっている。ただし、アンケートの回答内容は閲覧できない。



卒業予定者対象・大学生生活満足度アンケート（回答状況）

各所属の回答者数をクリックすると回答済みの学籍番号一覧が表示されます

所属名	回答者数
《大学院》薬学研究科薬学専攻博士課程	0
《大学院》文学研究科博士前期課程	0
《大学院》文学研究科博士後期課程	0
《大学院》工学研究科システム制御工学専攻博士前期課程	0
《大学院》工学研究科ナノ物質工学専攻博士前期課程	1
《大学院》工学研究科システム制御工学専攻博士後期課程	0
《大学院》工学研究科ナノ物質工学専攻博士後期課程	0
《大学院》人間生活学研究科食物学専攻博士前期課程	1
《大学院》人間生活学研究科生活環境情報学専攻博士前期課程	0

図 6-7 学科別（部局別）回答状況確認システム

アンケート結果は、全体、学部別に集計し図表に整理した。これらは実施年度の翌年度のはやい時期に定例合同教授会で報告される。また、記入された自由記述欄の内容については一覧にまとめられて部局長会で報告している。

アンケートはインターネットに接続している PC やスマートフォンのブラウザを利用して回答される。このアンケートのログイン画面の URL は

<http://sd.bunri-u.ac.jp/enq/>

である。

## 6-2 点検・評価

卒業生満足度評価アンケートは、948 人を対象に Web 方式にて行い、631 人から回答を得、回答率 66.6%（2020 年度は 67.0%、2019 年度は 72.8%、2018 年度は 65.8%）であった。所属別の内訳は表 6-2 に示す通りである。今年度も昨年度と同様に回答率が高くなった要因としては、合同教授会などにおいて全教員に周知徹底をはかったことが挙げられる。

全学全体の評価結果の概要を概観すると、最も高得点は、IV-4 の「よき友と出会いましたか」（4.42 点）であり、例年と同じであった。次に高得点は、IV-1 の「キャン

パスは清潔でしたか」(4.39点)であり、これは昨年度3番目の高得点でもある。次に、Ⅱ-3の「専門的な知識や技能(免許・資格を含む)を修得できましたか」(4.21点)とⅣ-3「頼りになる教員に出会えましたか」(4.20点)がほぼ同じであった。このことから、卒業生は学生時代に良き友と教員に出会い、清潔な環境で本学での日常を充実させていたと推察される。

表 6-2 所属別アンケート回答状況

所属名	卒業者数	回答者数	回答率(%)
人間生活学部	249	204	81.9
音楽学部	10	5	50.0
薬学部	70	52	74.3
文学部	65	57	87.7
理工学部	58	25	43.1
総合政策学部	91	59	64.8
香川薬学部	33	24	72.7
保健福祉学部	255	136	53.3
短期大学部	82	63	76.8
大学院・専攻科	35	6	17.1
全体	948	631	66.6

一方、最も低い得点は、Ⅳ-2の「課外活動(部活やイベントなど)に満足しましたか」(3.49点)であった。この背景には新型コロナの影響があると推察される。今年度も長期に渡り、遠隔授業および入構禁止措置が取られていた。2番目に低い得点は、Ⅴ-2の「総合的にみて、本学での学生生活はよかったですか」(3.63点)であった。この項目は昨年度4.44点と比較的高い値であったが、今年度は激減した。この理由としても、約2年にも及んだ新型コロナの影響が現れていると推察される。例えば、短期大学部の学生にとってみれば、制約の多い新型コロナの影響下で大学生活のほとんどを過ごすことになったのである。大学生活の満足度を高めている要因である「良き友と出会いましたか」が3密を避ける状況下では十分に満たされることがなく、結果的にこの質問項目の得点が低下したと考えられる。3番目に低い得点は、「学内のPCやWi-Fiサービスは利用しやすかったですか」(3.76点)であった。これは昨年度と同様に低い値であった。実際のところは、学内でWi-Fiサービスを利用する機会が少なかったことが得点値を下げていると考えられる。

これらの低得点項目は、入試広報委員会や保健管理センター、教務委員会など他委員会や組織体との連携によって改善に資するものと考えられる。卒業生向けの大学生活満足度アンケートは、FD研究部会の活動しているものであるが、『FD研究部会活動報告書』(冊子体)を全教員に配布しているため、教職員が一丸となって学生の満足度が高くなるよう、今後、各種関連委員会や組織体との連携強化が課題となる。

なお、資料編に、学部全体、短期大学部全体、各学部に分けて数値とグラフを示して

いるのでご高覧頂きたい。

### 6-3 改善計画（改善点）

#### (1) 質問項目の検討

このアンケートを始めた当初は、マークシートを利用して限られた時間内で回答する必要があったため、質問項目はできるだけ少なく厳選した。しかしながら、近年の SNS 等の普及に伴い、学生がスマートフォンなどの情報端末でアンケートに回答することに抵抗がなくなってきたと感じている。これを鑑みると、質問項目を少しだけ増やしても実施上の問題はないのではないかと思われる。また、今年度から開始した在学生全員に実施する学修状況アンケートの質問項目と意図が近いものがいくつか存在するので、学修状況アンケートとの整合性を検討する必要がある。徳島文理大学の学生の満足度を高めるためのより具体的なヒントを得られるような質問項目の追加を部会で検討したい。

#### (2) 大学生生活満足度アンケート結果を教育環境や教育改善に活かすシステム構築

これまで平成 21 年度～令和 3 年度の 12 年間に渡り、卒業生に対する満足度アンケートを行い、その結果をもとに、改善計画（改善点）をたて、満足度評価の方法論やシステムについて改善を行ってきた。そのことにより、教育環境や教育活動が少しずつ改善されてきているが、まだ十分とはいえない。

多大な費用とエネルギーを費やし実施してきた満足度評価アンケートから教育環境や教育改善に活かす事項が見出されたならば、今後は、その結果を活かすシステムの構築が課題となってくる。卒業生の満足度・不満足度を明らかにする単なるアンケートで終わっては意味がない。今後は、評価結果を活かして機能していくように、例えば、他委員会や組織体との情報共有や連携・協働など教育環境や教育改善に活かすシステム（仕組み）を構築していく時期にきている。

つものである。

## 7. 在学生対象・学修状況アンケート

### 7-1 現状

本学では、これまでにすべての学生に対して受講した授業の「全学授業アンケート」を、さらに、卒業予定者に対して「大学生生活満足度アンケート」を実施してきた。前者は、授業という比較的狭い範囲に限定した実態調査であり、後者は、授業だけに限らない本学で体験できる比較的広い範囲のものである。これらの集計結果が、本学が学生に提供する様々なサービスの改善に役立ってきたことは自明である。

一方、以前より大学生生活満足度アンケートを卒業予定者に限定せず、在学生に対しても実施してはどうかという意見があった。卒業予定者の場合には、2～6年という比較的長い期間に対する実態調査のため、回答の信頼性に若干の課題（平滑化や時間的なズレ）がある。寄せられた意見の多くは、この課題を解決するために在学生に毎年同様の実態調査を実施することが望ましいというものである。さらに、次回の外部認証評価では、エビデンスに基づいた内部質保証についての評価をしなければならない。内部質保証については授業アンケートだけでなく、広い範囲の学びに関するサービスの実態調査が必要である。以上のことから、係るコストのことを勘案しても、実施する方が本学にとって得策だと判断できるので、全学生を対象とした学習状況を把握するためのアンケートを2021年度から実施することにした。

[主たる目的]

(1) 本学の学生が、一年間に本学で体験した学修活動全般（授業や課外活動など）に関する実態を調査する

(2) 学生の学力や満足度の向上に寄与する要因を探る

ただし、2021年度は、試行とした。数年実施した上で、明らかになった課題は部会内で議論の上、すみやかに対応する。

実施方法は、インターネットを利用して回答する他アンケートと同様とし、回答期間は、年度末の毎年1月から香川キャンパスの学位授与式翌日（3月18日）までとする。ただし、2021年度は2月中旬時点で2,000人弱（約46%）の回答しか得られなかったため、2月度の部会において4月上旬（2022年4月8日）まで回答受付を延期することにした。

回答数は、その後、当初の予定の3月18日時点で2,223人（51.7%）、3月29日時点で2,292人（53.3%）と推移している。新学期がはじまると在学生オリエンテーションが開催されるため、回答数の微増が期待できるが、最終的には55%程度かと思われる。

このアンケートに対して学生は各自のスマートフォン、あるいは大学及び個人のPCのブラウザ上で回答することができる。図7-1にアンケートシステムのログイン画面を、図7-2から図7-6に質問項目（回答画面）を示す。

質問項目は「Ⅰ. 回答者について」、「Ⅱ. 授業・教育課程」、「Ⅲ. 大学の設備および支援体制」、「Ⅳ. 総合評価」という4つの大分類に分けられている。さらに、Ⅰについては9項目、Ⅱについては4項目、Ⅲについては7項目、Ⅳについては3項目を設けている。

# 2021年度 全学生対象 学修状況アンケート

徳島文理大学の在学生全員に対して回答をお願いしています。

この調査は、徳島文理大学の学生の皆さんが、本学においてこの1年間をどのように過ごされたのか（特に学修状況）を把握するためのものです。集計結果は本学が学生の皆さんに提供する教育サービスの充実と改善を図るために役立てます。大変お手数ですが、以下のアンケートに回答をお願いいたします。

【重要】回答者の学籍番号は回答の重複を防ぐために利用するだけで、最終的には誰がどのような回答をしたのかはわからないように集計します。

このアンケートの回答にはログインが必要です。  
学生ポータルサイトの利用時と同じログインIDとパスワードを入力してください。

【学籍番号】(例：215200)

【パスワード】(学生ポータルサイトと同じもの)

ログイン

【回答時の連絡事項】

- (1) 回答できるのは1回だけです。回答後に回答内容の変更はできません。
- (2) 自由記述欄に個人名や誹謗中傷的な記入はおやめください。このような記入があった場合には回答を削除することがあります。

徳島文理大学・全学FD研究部会

図 7-1 アンケートログイン画面（学生用）

回答者（あなた）についてお尋ねします

性別を教えてください【必須】

- 女性  
 男性

現所属学科の在籍年数を教えてください【必須】

- 1年  
 2年  
 3年  
 4年  
 5年  
 6年  
 7年以上

いま、あなたが大学でやりたいことをすべて選択してください【複数選択可】

- 専門的な勉強  
 基礎的な勉強（語学やプレゼンスキルなど）  
 最先端の研究  
 資格や免許の取得  
 社会貢献（ボランティアなど）  
 自由な時間を楽しむ（旅行や読書、芸術活動など）  
 学友との交流（サークル活動を含む）  
 起業などのビジネス  
 スポーツやトレーニング

その他： (15文字以内)

この一年間、授業時間を除く一日あたりの平均的な学習時間を選択してください【必須】

- 1時間未満  
 1時間～2時間  
 2時間～3時間  
 3時間～4時間  
 4時間～5時間  
 5時間以上

先ほどの平均的な学習時間は昨年と比較してどうですか【必須】

- 増加した  
 変わらない  
 減少した

図 7-2 アンケート回答画面 (1/4)

いま、あなたの卒業後の具体的な目標（夢）が言えますか【必須】

- 言える
- 言えない

この一年間、ボランティア（社会奉仕）活動に参加しましたか【必須】

- 参加した
- 参加していない

学内にクラスメイト以外の友人や知人はいますか【必須】

- いる
- いない

この一年間、定期的にアルバイトをしていましたか【必須】

- していた
- していない

授業・教育課程についてお尋ねします（全体として）

この一年間に受講した授業科目数は多いと感じましたか【必須】

- そう思う
- ややそう思う
- どちらでもない
- あまりそう思わない
- そう思わない

この一年間に受講した授業内容はむずかしいと感じましたか【必須】

- そう思う
- ややそう思う
- どちらでもない
- あまりそう思わない
- そう思わない

この一年間、課題（宿題やレポートなど）の量は多いと感じましたか【必須】

- そう思う
- ややそう思う
- どちらでもない
- あまりそう思わない
- そう思わない

図 7-3 アンケート回答画面（2/4）

この一年間、授業以外の学習活動（学外実習、見学、補習など）に参加しましたか【必須】

- 参加した
- 参加していない

大学の設備および支援体制についてお尋ねします

この一年間、図書館を利用したことがありますか【必須】

- 利用したことがある
- 利用したことがない

この一年間、クラブやサークルで活動しましたか【必須】

- 活動した
- 活動していない

この一年間、学内の食堂を利用したことがありますか【必須】

- 利用したことがある
- 利用したことがない

この一年間、学内の売店（コンビニなど）を利用したことがありますか【必須】

- 利用したことがある
- 利用したことがない

この一年間、本学の教員または職員と個人的な面談をしたことがありますか【必須】

- したことがある
- したことがない

この一年間、健康診断以外で保健センターを利用したことがありますか【必須】

- 利用したことがある
- 利用したことがない

この一年間、学内のWi-Fiサービスを利用したことがありますか【必須】

- 利用したことがある
- 利用したことがない

図 7-4 アンケート回答画面 (3/4)



総合評価をお尋ねします

この一年間に本学で体験したこと（学習や課外活動など）に満足しましたか【必須】

- そう思う
- ややそう思う
- どちらでもない
- あまりそう思わない
- そう思わない

この一年間にあなたが本学で体験したもっとも印象に残ったことをお書きください（1000字以内）

《できるだけ記入してください。お願いします》

本学をより魅力的にするために取り組むべきことがあれば提案してください（1000字以内）

《できるだけ記入してください。お願いします》

回答が終わったらここを押してください  
確認画面に移ります

徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部

図 7-5 アンケート回答画面（4/4）

## 全学生対象・学修状況アンケート（回答状況）

各所属の回答者数をクリックすると回答済みの学籍番号一覧が表示されます

所属名	回答者数
《大学院》薬学研究科薬学専攻博士課程	1
《大学院》文学研究科博士前期課程	1
《大学院》文学研究科博士後期課程	0
《大学院》工学研究科システム制御工学専攻博士前期課程	3
《大学院》工学研究科ナノ物質工学専攻博士前期課程	1

図 7-6 学科別（部局別）回答状況確認システム

回答期間中は、回答状況がリアルタイムでわかるように、図 7-6 に示すインターネット上で稼動するシステムを構築している。このシステムは各学科（部局）の回答者数を閲覧することができ、さらに回答数のところをクリックすると回答を済ませた学籍番号のリスト一覧が閲覧できるようになっている。ただし、アンケートの回答内容は閲覧できない。

このアンケートの学生用の回答用 URL は、

<http://sd.bunri-u.ac.jp/enq/>

回答状況確認用 URL は、

[http://Bunri-u.org/ank2021f/as\\_check.php](http://Bunri-u.org/ank2021f/as_check.php)

である。

## 7-2 点検・評価

令和 4 年 3 月 28 日時点での集計結果（速報）について紹介する。大学でやりたいことをすべて選択させる問い（I-1）については、選択率の高い順に「専門的な勉強」、「資格や免許の取得」、「自由な時間を楽しむ（旅行や読書、芸術活動など）」であった。この結果はある程度予測できたものである。また、学習時間など、これまで明確にされてこなかった情報を得ることができた。これらの情報を活かしながら効果的な学修指導法を探っていくことが望まれる。

大分類Ⅱの授業・教育課程に関する回答では、授業アンケートの結果とほとんど同じ状況であった。ただし、一年間の全体としての評価であるため、全体的な印象が数値として現れていると考えられる。今後は年度推移など経時的な変化を観察する必要がある。

大分類Ⅲの大学の設備および支援体制に関する回答では、従来、のべ人数でしか把握していなかった図書館や食堂などの利用率が明らかになった。クラブおよびサークルの登録者数は把握できていたが、実際に活動している人数は多くないことが明らかになった。これらの数値についても経時的な変化および部局別の比較を観察しながら長期的な対策を講じる必要がある。

大分類Ⅳの総合評価の回答では、回答者の約 7 割が一年間の本学での体験を「満足した」あるいは「やや満足した」と感じていることがわかった。この結果の善し悪しの判断はできないが、今後、これを少しでも高い値にすべく関係者が一丸となって努力を継続すべきである。

## 7-3 改善計画（改善点）

### (1) 質問項目の検討

今年度の学修状況アンケートは試行である。最終的な集計結果に基づいて、令和 4 年度の FD 研究部会でのアンケートの質問項目について改めて検討する必要がある。大学における学修は、授業に限定されるものではなく、課外活動なども含まれる。また、学生が置かれている状況や環境が学修に影響を与えることは自明であるため、このようなアンケートは、学生の学修の実態を少しでも把握することに十分役立っていると思われる。少なくとも 2、3 年は実施し、経時的な変化を観察する必要がある。

表 7-1 所属別アンケート回答状況（令和 4 年 3 月 29 日時点）

所属名	在籍数	回答者数	回答率(%)
人間生活学部	1,177	637	70.4
音楽学部*1	45	23	51.1
薬学部	471	244	51.8
文学部	302	151	50.0
理工学部	315	162	51.4
総合政策学部	338	130	38.5
香川薬学部	245	127	51.8
保健福祉学部	1,158	684	59.1
短期大学部*2	154	119	77.3
大学院・専攻科*3	86	16	18.6
全体	4,291	2,293	53.4

\*1:音楽専攻科と短期大学部音楽科を含む, \*2:音楽科を除く, \*3:音楽専攻科を除く

## (2) 回答率の向上

授業アンケートと比べるとこのアンケートの回答率は低い。将来的には、このアンケートで退学防止などにも役立てることを目指しているため、回答率が高いほうが好ましい。授業アンケートであれば、担当教員が授業などで直接依頼をかけることができるが、このアンケートでは同様な依頼ができないため、現状では電子メールでの告知（依頼）が唯一の手段である。また、実施期間が後期の授業アンケートや卒業生対象の大学生活満足度アンケートと重複したために、学生に少なからず混乱を招いた可能性がある。次年度以降に、回答率を向上させる方法を検討する必要がある。

## (3) 回答情報の活用

このアンケートの回答は部局別に集計され、どの学生がどのように回答したかがわからない。これは従来実施してきたアンケートと同様に対応した結果であるが、回答内容が学生に不利になるような項目はないと思われるし、担任など学生と強く関与する教職員が回答内容を把握して、学生の学修活動の支援をすることは学生および大学にとってデメリットよりもメリットがあるのではないかと思われる。このことについて次年度以降の FD 研究部会で議論を重ね、回答情報を学生の学修活動にうまく活かす方法を探っていく必要がある。

## 8. おわりに

令和2年度FD活動報告書は、「キーワードとなるのは、正課外教育である。『大学における学生生活の充実方策について（報告）－学生の立場に立った大学づくりを目指して－』文部省高等教育局（平成12年）（通称「廣中レポート」）も、「学習体験の具体的な場面に即して、各学生の主体的条件に働きかける教育指導を行うことによって、その人格的形成を総合的に援助する」正課外教育の役割の重要性を指摘し、これまで「正課外教育に対する大学の取組が遅れてきたことは否めない。このことは、大学における主役は教授研究を行う教員であり、学習する側である学生が常に脇役であり続けたことと無縁ではない」と指摘していた。

大学の主役は学習者たる学生であると位置づけ、学生の立場に立った大学作りを更に進めるには、どうしたらいいのか。こうして、令和元年度の全学FD研修会は、「『分かった』を引き出すアクティブラーニング」と題し、森朋子・関西大学教育推進部教授を講師に迎えて開催された。

FDの基本は、学生たちに「分かった」と思ってもらえる授業設計と実践の繰り返し、そして振り返りである。佐藤浩章編著『シリーズ大学の教授法2 講義法』（玉川大学出版部、2017年）には、「講義法に役立つ20のモチベーション理論」が紹介されている。これを例に、森先生が講演で巧みに説かれた、学習理論研究に裏打ちされた授業実践は、私たちが苦闘しているくどのようにすれば学生たちに学び続ける、考え抜くためのモチベーションを持たせるか>という課題の解決に向けたヒントを示すものであった。学習理論を研究テーマにする高等教育研究者は、全国的にも少ない。本学には、幼小中高の教員を育成することに携わっている教員も多い。そうした教員も含めて、森先生の実践報告は刺激的であっただろうし、授業改善の参考になったと推測している」と記している。

長々とした引用になってしまった。だが、授業を含めて、この2年間で、キャンパスの内外で、学生たちに我慢を強いることが当たり前になりつつあり、課外活動への制限についても、なんら疑問に思わないように馴らされてしまっている私たちにとって、<大学の主役は学習者たる学生であると位置づけ>ることを、意識し続けることがいかに困難であることか。この報告書で一年を振り返ることが、一人一人の教員にとってFDの存在意義の確認となることを期待したい。

# 資料編目次

1	要綱・内規	
1-1	徳島文理大学教育開発機構設置要綱	1
1-2	徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部 F D研究部会内規	2
2	F D研究部会 部員名簿・会議一覧	
2-1	令和3(2021)年度 F D研究部会部員名簿	3
2-2	令和3(2021)年度 F D研究部会会議一覧	4
3	研修会	
3-1	令和3(2021)年度 F D研修会	5
3-2	令和3(2021)年度 新任・昇任教員研修会	6
3-3	令和3(2021)年度 学外研修会等参加者一覧	7
4	全学授業アンケート	
4-1	令和3(2021)年度 全学授業アンケート	11
4-2	令和3(2021)年度 前期：大学全体 集計結果	12
4-3	令和3(2021)年度 前期：学部・大学院全体 集計結果	13
4-4	令和3(2021)年度 前期：短期大学部全体 集計結果	14
4-5	令和3(2021)年度 前期：教員コメント全体 集計結果	15
4-6	令和3(2021)年度 後期：大学全体 集計結果	16
4-7	令和3(2021)年度 後期：学部・大学院全体 集計結果	17
4-8	令和3(2021)年度 後期：短期大学部全体 集計結果	18
4-9	令和3(2021)年度 後期：教員コメント全体 集計結果	19
4-10	アンケートの内容	20
4-11	教員コメントの内容	21
5	研究授業	
5-1	令和3(2021)年度 研究授業一覧	22
5-2	研究授業(教員相互の授業参観)記録様式	23
5-3	研究授業(目標設定型)記録様式	24
6	卒業予定者対象・大学生生活満足度アンケート	
6-1	令和3(2021)年度 卒業予定者対象・大学生生活満足度アンケート	25
6-2	令和3(2021)年度 大学全体 集計結果	26
6-3	令和3(2021)年度 大学院・専攻科・学部全体 集計結果	27
6-4	令和3(2021)年度 短期大学部全体 集計結果	28
6-5	アンケートの内容	29
7	在学生対象・学修状況アンケート	
7-1	令和3(2021)年度 在学生対象・学修状況アンケート	30
7-2	令和3(2021)年度 大学全体 集計結果	31
7-3	令和3(2021)年度 大学院・専攻科・学部全体 集計結果	33
7-4	令和3(2021)年度 短期大学部全体 集計結果	35
7-5	アンケートの内容	37
8	用語解説	
8-1	用語解説	38

## 徳島文理大学教育開発機構設置要綱

### (設置・目的)

第1条 全学的な教育改革を実現するため、当面する教育上の諸課題又は学長からの諮問事項を研究協議し、徳島文理大学（以下「本学」という。）の一層の教育力の向上を図ることを目的として、本学に学長直属の教育開発機構（以下「機構」という。）を設置する。

### (組織)

第2条 機構に、次に掲げる委員会及び部会を置く。

- (1) 全学教務委員会
- (2) 入試制度検討部会（入学前教育を含む。）
- (3) 全学共通教育研究部会
- (4) FD研究部会

2 機構の代表責任者は、副学長とする。

### (委員会及び部会の構成)

第3条 委員会及び各部会は、それぞれ各学部及び関係する事務部門から推薦された委員又は部会員で構成する。ただし、学長が特に必要と認めた者を加えることができる。

### (委員長及び部会長)

第4条 委員会及び各部会に、それぞれ委員長又は部会長を置く。

- 2 委員長及び部会長は、学長が任命する。
- 3 委員長及び部会長の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 4 委員長又は部会長がやむを得ない事由により退任する場合は、学長に申し出て、その承認を受けなければならない。

### (委員及び部会員)

第5条 委員及び部会員の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

### (委員会及び部会)

第6条 委員長及び部会長は、必要に応じ、それぞれ委員会又は部会を招集するものとする。

- 2 委員会又は各部会の議長は、委員長又は各部会長がこれに充たる。
- 3 委員長又は各部会長に事故あるとき、若しくは欠けた場合は、あらかじめ委員長又は各部会長が指名した者が議長となる。
- 4 委員及び部会員がやむを得ない事由により欠席する場合は、代理出席を認めるものとする。

### (事務局)

第7条 機構の事務は、徳島キャンパス教務部が処理するものとする。

### (補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、機構の運営に関し必要な事項は、学長が別に定める。

### 附 則

- 1 この要綱は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 「徳島文理大学教育開発機構設置要綱」（平成19年10月30日施行）は、廃止する。

## 徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部 F D研究部会内規

### (設 置)

第1条 徳島文理大学教育開発機構設置要綱に基づき、F D研究部会を設置する。

### (目 的)

第2条 F Dとは「授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究」(大学設置基準第二十五条の三)を指すものであり、F D研究部会は、全学的なF D活動を推進及び支援し、教育の質の向上を図ることを目的とする。

### (調査研究事項)

第3条 F D研究部会は、次に掲げる事項を調査研究する。

- 1 F D活動に関する情報収集と提供
- 2 F D活動の企画・立案
- 3 F D活動実施計画の立案・実施
- 4 F D活動の評価
- 5 その他、F D研究部会が必要と認めた事項

### (組 織)

第4条 F D研究部会は、次の委員をもって構成する。

- 1 部会長 1名
- 2 副部会長 2名 (徳島キャンパス1名、香川キャンパス1名)
- 3 部員 各学部より1名、教育研究支援課より若干名

第5条 部会長・副部会長及び部員の選任

- 1 部会長・副部会長は学長が任命する。
- 2 部員は各学部長及び教務部長が学長に推薦し、学長が任命する。

第6条 部会長及び部員の退任

- 1 部会長・副部会長は、諸事情により退任する場合は学長に申し出なければならない。
- 2 部員は、諸事情により退任する場合は各学部長あるいは教務部長に申し出なければならない。

### (会 議)

第7条 部会の開催

- 1 部会長は、原則として毎月1回部会を開催し、これを主宰する。
- 2 部員は、部会長の招集に応じ部会に出席しなければならない。やむを得ない事情により欠席する場合は、代理の出席者を立てなければならない。

### (任 期)

第8条 部会長、副部会長及び部員の任期は原則2か年とし、再任を妨げない。

### (事務局)

第9条 F D研究部会の事務は、教育研究支援課が担当する。

### 附 則

- 1 本内規は、平成19年12月13日から施行する。
- 2 本内規は、平成20年12月2日から一部改正施行する。
- 3 本内規は、平成26年4月1日から一部改正施行する。
- 4 本内規は、平成30年4月1日から一部改正施行する。

## 令和3(2021)年度 F D研究部会部員名簿

	氏 名	所 属
副 学 長	梶山 博司	
部 会 長	青野 透	総合政策学部
副部会長	小林 郁典	理工学部
〃	千葉さやか	音楽学部
部 員	角 大悟	薬学部
〃	岡 直樹	人間生活学部
〃	西川 啓介	保健福祉学部(徳島キャンパス)
〃	廣野 誠	総合政策学部
〃	佐賀 啓子	短期大学部
〃	大岡 嘉治	香川薬学部
〃	上田 雅彦	保健福祉学部(香川キャンパス)
〃	井田 琇穂	文学部
事 務 局	井上 薫	教育研究支援課(徳島キャンパス)
〃	藤本 浩美	〃
〃	池田 正樹	教育研究支援課(香川キャンパス)



## 令和3(2021)年度 F D研究部会会議一覧

回数	日時	会場
第125回 FD 研究部会	令和3年4月15日(木) 16:30~17:30	徳島キャンパス:25号館4階スタジオ型講義室 香川キャンパス:図書館3階AVホール (テレビ会議)
第126回 FD 研究部会	令和3年5月20日(木) 16:30~17:30	徳島キャンパス:25号館4階スタジオ型講義室 香川キャンパス:図書館3階AVホール (テレビ会議)
第127回 FD 研究部会	令和3年6月17日(木) 16:30~17:30	徳島キャンパス:25号館4階スタジオ型講義室 香川キャンパス:図書館3階AVホール (テレビ会議)
第128回 FD 研究部会	令和3年7月15日(木) 16:30~17:30	徳島キャンパス:25号館4階スタジオ型講義室 香川キャンパス:図書館3階AVホール (テレビ会議)
第129回 FD 研究部会	令和3年9月9日(木) 16:00~17:00	徳島キャンパス:25号館4階スタジオ型講義室 香川キャンパス:図書館3階AVホール (テレビ会議)
第130回 FD 研究部会	令和3年10月21日(木) 16:30~17:30	徳島キャンパス:25号館4階スタジオ型講義室 香川キャンパス:図書館3階AVホール (テレビ会議)
第131回 FD 研究部会	令和3年11月18日(木) 16:30~17:30	徳島キャンパス:25号館4階スタジオ型講義室 香川キャンパス:図書館3階AVホール (テレビ会議)
第132回 FD 研究部会	令和3年12月16日(木) 16:30~17:30	徳島キャンパス:25号館4階スタジオ型講義室 香川キャンパス:保健福祉学部棟5階会議室 (テレビ会議)
第133回 FD 研究部会	令和4年1月20日(木) 16:30~17:30	徳島キャンパス:25号館4階スタジオ型講義室 香川キャンパス:図書館3階AVホール (テレビ会議)
第134回 FD 研究部会	令和4年2月17日(木) 13:30~14:30	徳島キャンパス:3号館10階共同研究室 香川キャンパス:図書館3階AVホール (テレビ会議)

## 令和3(2021)年度 F D研修会

## ①第1回FD研修会(SPOD遠隔配信)

- ・日時：9月7日(火) 10:00～12:00
  - ・演題：「大人数講義法の基本」
  - ・講師：上月 翔太(愛媛大学 教育企画室)
  - ・実施方法：Zoom 接続にて実施する。
  - ・受講者：徳島キャンパス 17名、香川キャンパス 5名 合計 22名
- ※第2回新任・昇任教員研修会を兼ねる。

## ②第2回FD研修会(SPOD内講師派遣プログラム)

- ・日時：9月10日(金) 13:30～15:00
  - ・演題：「ループリック作成入門」
  - ・講師：飯尾 健(徳島大学 高等教育研究センター 教育改革推進部門 助教)
  - ・実施方法：Zoom 接続にて実施する。
  - ・受講者：徳島キャンパス 16名、香川キャンパス 9名 合計 25名
- ※第3回新任・昇任教員研修会を兼ねる。

## ③第3回FD研修会(全学FD研修会)

- ・日程：9月21日(火)～10月30日(土)
  - ・演題：授業改善に関する実践例報告
  - ・講師：保健福祉学部 理学療法学科 近藤 慶承  
総合政策学部 総合政策学科 水ノ上 智邦
  - ・実施方法：講演内容を Google Classroom 上で配信し、視聴後にアンケートに回答する。
  - ・受講者：徳島キャンパス 231名、香川キャンパス 103名 合計 334名
- ※第4回新任・昇任教員研修会を兼ねる。

## 令和3(2021)年度 新任・昇任教員研修会

(対 象) 新任教員、昇任教員

昇任教員は、助教・講師に昇任された先生で、これまで研修を未受講の先生

(対象者数) 23名

(研修回数) 4回(第2回・第3回・第4回の研修会は、FD研修会と同時開催)

### ①第1回新任・昇任教員研修会

- ・日 時：4月当初
- ・内 容：学習支援システム Google Classroom を利用した遠隔配信授業について
- ・実施方法：①新任教員には、資料と参考図書(今すぐ使える! Google for Education)を、新任教職員研修会(総務部主催：4月3日(土))にて配付する。  
昇任教員には、個別に配付する。  
②資料及び参考図書を参考にしながら、各自で研修する。  
③希望者は、体験型の研修を受講する。(4月中)

### ②第2回新任・昇任教員研修会

- ・日 時：9月7日(火) 10:00～12:00
- ・演 題：「大人数講義法の基本」
- ・講 師：上月 翔太(愛媛大学 教育企画室)
- ・実施方法：Zoom 接続にて実施する。

### ③第3回新任・昇任教員研修会

- ・日 時：9月10日(金) 13:30～15:00
- ・演 題：「ループリック作成入門」
- ・講 師：飯尾 健(徳島大学 高等教育研究センター 教育改革推進部門 助教)
- ・実施方法：Zoom 接続にて実施する。

### ④第4回新任・昇任教員研修会

- ・日 程：9月21日(火)～10月30日(土)
- ・演 題：授業改善に関する実践例報告
- ・講 師：保健福祉学部 理学療法学科 近藤 慶承  
総合政策学部 総合政策学科 水ノ上 智邦
- ・実施方法：講演内容を Google Classroom 上で配信し、視聴後にアンケートに回答する。

## 令和3(2021)年度 学外研修会等参加者一覧

## ① SPOD研修会・フォーラム等参加一覧表

開催日	名称	主催者	開催場所	参加者
令和3年 5月13日(木)	オンライン環境での学習評価 (ランチセミナー)	徳島大学	オンライン	(徳島キャンパス) 短期大学部 佐賀 啓子
令和3年 5月20日(木)	オンライン環境での学習評価 (ランチセミナー)	徳島大学	オンライン	(徳島キャンパス) 短期大学部 佐賀 啓子
令和3年 6月10日(木)	学生の主体性を促す学習支援 (ランチセミナー)	徳島大学	オンライン	(徳島キャンパス) 短期大学部 佐賀 啓子
令和3年 6月17日(木)	学生の主体性を促す学習支援 (ランチセミナー)	徳島大学	オンライン	(徳島キャンパス) 短期大学部 佐賀 啓子
令和3年 6月24日(木) ～6月25日(金)	大学人・社会人としての基礎力 養成プログラム(レベルⅡ)	愛媛大学	オンライン	(香川キャンパス) 教務部 安藝 和加
令和3年 7月3日(土) ～7月4日(日)	授業デザインワークショップ	愛媛大学	オンライン	(徳島キャンパス) 保健福祉学部 長田 悠路
令和3年 7月8日(木)	ループリック入門(ランチセミ ナー)	徳島大学	オンライン	(徳島キャンパス) 短期大学部 佐賀 啓子 (香川キャンパス) 保健福祉学部 山村 憲一郎
令和3年 7月15日(木)	ループリック入門(ランチセミ ナー)	徳島大学	オンライン	(徳島キャンパス) 短期大学部 佐賀 啓子
令和3年 7月15日(木)	次世代リーダー養成ゼミナール (第2回)	愛媛大学	オンライン	(香川キャンパス) 教務部 安藝 和加
令和3年 8月25日(水) ～8月27日(金)	SPODフォーラム2021	高知大学	オンライン	(徳島キャンパス) 人間生活学部 寺奥 敦子 池添 純子 那住 公子 薬学部 宗野 真和 総合政策学部 青野 透 松村 豊大 保健福祉学部 谷 洋江 宮原 和沙 短期大学部 佐賀 啓子 総務部 後藤 立夫 後藤 浩代 東條 幸枝 教務部 井上 薫 多田 一子

開催日	名称	主催者	開催場所	参加者
				中山 多佳子 福原 泰子 高橋 さゆり 藤本 浩美 学生部 原 里沙 地域連携センター 藤巻 晃 島田 泉 (香川キャンパス) 文学部 井田 琇穂 理工学部 小林 郁典 香川薬学部 定本 久世 岡田 岳人 教務部 竹本 恵一 池田 正樹 就職支援部 遠藤 真由美 紫藤 容子 藤本 典子 入試広報部 板東 博士
令和3年 9月7日(火)	大人数講義法の基本	愛媛大学	オンライン	(徳島キャンパス) 人間生活学部 中嶋 英治 岡林 春雄 寺奥 敦子 池添 純子 青山 佳裕 定國 雅洋 前川 優樹 薬学部 中村 敏己 白野 陽正 保健福祉学部 森脇 智秋 柳澤 幸夫 平岡 峰子 鎌田 加容子 井元 啓子 廣瀬 良平 森本 ゆかり 総務部 後藤 浩代 (香川キャンパス) 香川薬学部 池田 博昭 中妻 章 保健福祉学部 朝原 正喜 山村 憲一郎 教務部 池田 正樹

開催日	名称	主催者	開催場所	参加者
令和3年 9月9日(木)	TA・RAの活用(ランチセミナー)	徳島大学	オンライン	(徳島キャンパス) 短期大学部 佐賀 啓子 (香川キャンパス) 香川薬学部 竹内 一
令和3年 9月10日(金)	ループリック作成入門	徳島文理大学	オンライン	(徳島キャンパス) 人間生活学部 中川 利津代 中嶋 英治 寺奥 敦子 青山 佳裕 定國 雅洋 前川 優樹 薬学部 中村 敏己 白野 陽正 総合政策学部 青野 透 保健福祉学部 波止 千恵 喜來 浩子 田村 幸子 廣瀬 良平 森本 ゆかり 総務部 後藤 浩代 教務部 井上 薫 (香川キャンパス) 文学部 井田 琇穂 理工学部 小林 郁典 香川薬学部 山田 麻紀 池田 博昭 中島 健太郎 保健福祉学部 朝原 正喜 西村 圭弘 山村 憲一郎 教務部 池田 正樹
令和3年 9月15日(水) ～9月17日(金)	大学人・社会人としての基礎力 養成プログラム(レベルⅢ)	愛媛大学	オンライン	(徳島キャンパス) 総務部 平賀 幸夫 学生部 竹崎 美由紀 (香川キャンパス) 総務部 安藝 誠二 六車 晃子
令和3年 9月16日(木)	TA・RAの活用(ランチセミナー)	徳島大学	オンライン	(徳島キャンパス) 短期大学部 佐賀 啓子 (香川キャンパス)

開催日	名称	主催者	開催場所	参加者
				香川薬学部 竹内 一
令和3年 9月16日(木)	Zoom百物語、授業や会議が更に パワーアップ	香川大学	オンライン	(徳島キャンパス) 人間生活学部 青山 佳裕
令和3年 10月14日(木)	学生とのコミュニケーション (ランチセミナー)	徳島大学	オンライン	(徳島キャンパス) 短期大学部 佐賀 啓子 (香川キャンパス) 香川薬学部 竹内 一
令和3年 10月21日(木)	学生とのコミュニケーション (ランチセミナー)	徳島大学	オンライン	(徳島キャンパス) 短期大学部 佐賀 啓子 (香川キャンパス) 香川薬学部 竹内 一
令和3年 11月11日(木)	オンラインでのアクティブラー ニング(ランチセミナー)	徳島大学	オンライン	(徳島キャンパス) 短期大学部 佐賀 啓子
令和3年 11月18日(木)	オンラインでのアクティブラー ニング(ランチセミナー)	徳島大学	オンライン	(徳島キャンパス) 短期大学部 佐賀 啓子
令和4年 1月13日(木)	学習のエビデンス収集・分析1 (量的分析編)(ランチセミナー)	徳島大学	オンライン	(徳島キャンパス) 短期大学部 佐賀 啓子 (香川キャンパス) 香川薬学部 竹内 一
令和4年 1月20日(木)	学習のエビデンス収集・分析1 (量的分析編)(ランチセミナー)	徳島大学	オンライン	(香川キャンパス) 香川薬学部 竹内 一

## ② S P O D 会議参加一覧表

開催日	名称	主催者	開催場所	参加者
令和3年 10月25日(月) ～11月8日(月)	四国地区大学教職員能力開発ネ ットワーク臨時総会	S P O D	紙上	学長 田村 禎通
令和3年 11月10日(水)	第1回T-SPOD会議	S P O D 徳島大学	オンライン	(徳島キャンパス) 総務部 後藤 浩代 教務部 井上 薫
令和4年 3月18日 ～3月29日	四国地区大学教育能力開発ネッ トワーク総会	S P O D	紙上	学長 田村 禎通

## 令和3(2021)年度 全学授業アンケート

アンケート 実施期間	<p>(前期) 令和3年7月12日(月)～8月31日(火) ※早期モード 令和3年5月10日(月)～</p> <p>(後期) 令和4年1月11日(火)～2月18日(金) ※早期モード 令和3年11月1日(月)～</p>
アンケート 回答率	<p>(前期) 回答率 67.7% 対象数 46,937      回答数 31,755</p> <p>(後期) 回答率 64.6% 対象数 44,361      回答数 28,678</p>
教員コメント 記入期間	<p>(前期) 令和3年9月2日(木)～10月30日(土)</p> <p>(後期) 令和4年2月21日(月)～3月18日(金)</p>
教員コメント 回答率	<p>(前期) 回答率 66.5% 対象数 2,628      回答数 1,747</p> <p>(後期) 回答率 66.5% 対象数 2,712      回答数 1,804</p>
アンケート結果 教員コメント 公開期間	<p>(前期) 令和3年11月1日(月)から1年間</p> <p>(後期) 令和4年3月19日(土)から1年間</p>



## 4-2 (前期：大学全体)

2021年度前期 授業アンケート集計結果 (全体)			徳島文理大学	
対象数 (学生の履修登録数の総和)	回答数	31,755	有効回答数	31,486
46,937	回答率	67.65%	有効回答率	99.2%
<b>1. 受講する前 (学期はじめ) に、あなたはこの授業のシラバスを読みましたか</b>				
設問	回答数	比率	加重平均	
全体的に読んだ(4点)	11,268	0.36	3.11	
部分的に読んだ(3点)	14,259	0.45		
ほとんど読まなかった(2点)	4,243	0.13		
まったく読まなかった(1点)	1,716	0.05		
<b>2. 受講する前 (学期はじめ)、あなたはこの授業に興味 (学習意欲) がありましたか</b>				
設問	回答数	比率	加重平均	
とても興味があった(4点)	10,788	0.34	3.19	
どちらかというに興味があった(3点)	16,400	0.52		
どちらかというに興味がなかった(2点)	3,656	0.12		
まったく興味がなかった(1点)	642	0.02		
<b>3. あなたにとってこの授業の全体的な内容は理解しやすいものでしたか</b>				
設問	回答数	比率	加重平均	
わかりやすい内容であった(4点)	16,028	0.51	3.40	
どちらかというわかりやすい内容であった(3点)	12,587	0.40		
どちらかというわかりにくい内容であった(2点)	2,373	0.08		
わかりにくい内容であった(1点)	498	0.02		
<b>5. あなたがこの授業を受けたことによって得られたと思うものをすべて選択してください</b>				
設問	回答数	選択率(%)		
専門的な知識・技能	27,335	86.82		
自立性	11,301	35.89		
協同性	7,649	24.29		
考え抜く力	12,349	39.22		
交渉力	4,933	15.67		
発信力	4,191	13.31		
<b>6. この授業に関して良いと思うものをすべて選択してください</b>				
設問	回答数	選択率(%)		
説明内容	22,193	70.49		
授業の進め方	18,704	59.40		
教科書・パワーポイントなどの資料	14,612	46.41		
課題や宿題の内容 (量も含む)	9,911	31.48		
教室の設備	9,405	29.87		
<b>7. あなた自身の学習活動を評価した場合、最終成績 (スコア) はどれだと思いますか</b>				
設問	回答数	比率	加重平均	
優(4点)	12,184	0.39	3.17	
良(3点)	12,874	0.41		
可(2点)	6,072	0.19		
不可(1点)	356	0.01		
<b>8. 総合的にみて、この授業のあなた自身の満足度はどれだと思いますか</b>				
設問	回答数	比率	加重平均	
満足(4点)	16,653	0.53	3.47	
どちらかという満足(3点)	13,199	0.42		
どちらかという不満足(2点)	1,333	0.04		
不満足(1点)	301	0.01		

### 4-3 (前期：学部・大学院全体)

2021年度前期 授業アンケート集計結果 (学部・大学院) 徳島文理大学

対象数 (学生の履修登録数の総和)	回答数	30,039	有効回答数	29,783
44,793	回答率	67.06%	有効回答率	99.1%

#### 1. 受講する前 (学期はじめ) に、あなたはこの授業のシラバスを読みましたか

設問	回答数	比率	加重平均
全体的に読んだ(4点)	10,775	0.36	3.12
部分的に読んだ(3点)	13,430	0.45	
ほとんど読まなかった(2点)	3,975	0.13	
まったく読まなかった(1点)	1,603	0.05	

#### 2. 受講する前 (学期はじめ)、あなたはこの授業に興味 (学習意欲) がありましたか

設問	回答数	比率	加重平均
とても興味があった(4点)	10,204	0.34	3.19
どちらかというに興味があった(3点)	15,540	0.52	
どちらかというに興味がなかった(2点)	3,420	0.11	
まったく興味がなかった(1点)	619	0.02	

#### 3. あなたにとってこの授業の全体的な内容は理解しやすいものでしたか

設問	回答数	比率	加重平均
わかりやすい内容であった(4点)	15,093	0.51	3.40
どちらかというわかりやすい内容であった(3点)	11,953	0.40	
どちらかというわかりにくい内容であった(2点)	2,270	0.08	
わかりにくい内容であった(1点)	467	0.02	

#### 5. あなたがこの授業を受けたことによって得られたと思うものをすべて選択してください

設問	回答数	選択率(%)
専門的な知識・技能	25,892	86.94
自立性	10,766	36.15
協同性	7,263	24.39
考え抜く力	11,737	39.41
交渉力	4,642	15.59
発信力	3,935	13.21

#### 6. この授業に関して良いと思うものをすべて選択してください

設問	回答数	選択率(%)
説明内容	20,932	70.28
授業の進め方	17,724	59.51
教科書・パワーポイントなどの資料	13,917	46.73
課題や宿題の内容 (量も含む)	9,447	31.72
教室の設備	8,729	29.31

#### 7. あなた自身の学習活動を評価した場合、最終成績 (スコア) はどれだと思いますか

設問	回答数	比率	加重平均
優(4点)	11,593	0.39	3.17
良(3点)	12,017	0.40	
可(2点)	5,826	0.20	
不可(1点)	347	0.01	

#### 8. 総合的にみて、この授業のあなた自身の満足度はどれだと思いますか

設問	回答数	比率	加重平均
満足(4点)	15,663	0.53	3.46
どちらかという満足(3点)	12,559	0.42	
どちらかという不満足(2点)	1,273	0.04	
不満足(1点)	288	0.01	

#### 4-4 (前期：短期大学部全体)

#### 2021年度前期 授業アンケート集計結果 (短期学部) 徳島文理大学

対象数 (学生の履修登録数の総和)	回答数	1,716	有効回答数	1,703
2,144	回答率	80.04%	有効回答率	99.2%

1. 受講する前 (学期はじめ) に、あなたはこの授業のシラバスを読みましたか			
設問	回答数	比率	加重平均
全体的に読んだ(4点)	493	0.29	3.00
部分的に読んだ(3点)	829	0.49	
ほとんど読まなかった(2点)	268	0.16	
まったく読まなかった(1点)	113	0.07	

2. 受講する前 (学期はじめ)、あなたはこの授業に興味 (学習意欲) がありましたか			
設問	回答数	比率	加重平均
とても興味があった(4点)	584	0.34	3.18
どちらかというに興味があった(3点)	860	0.50	
どちらかというに興味がなかった(2点)	236	0.14	
まったく興味がなかった(1点)	23	0.01	

3. あなたにとってこの授業の全体的な内容は理解しやすいものでしたか			
設問	回答数	比率	加重平均
わかりやすい内容であった(4点)	935	0.55	3.45
どちらかというわかりやすい内容であった(3点)	634	0.37	
どちらかというわかりにくい内容であった(2点)	103	0.06	
わかりにくい内容であった(1点)	31	0.02	

5. あなたがこの授業を受けたことによって得られたと思うものをすべて選択してください		
設問	回答数	選択率(%)
専門的な知識・技能	1,443	84.73
自立性	535	31.42
協同性	386	22.67
考え抜く力	612	35.94
交渉力	291	17.09
発信力	256	15.03

6. この授業に関して良いと思うものをすべて選択してください		
設問	回答数	選択率(%)
説明内容	1,261	74.05
授業の進め方	980	57.55
教科書・パワーポイントなどの資料	695	40.81
課題や宿題の内容 (量も含む)	464	27.25
教室の設備	676	39.69

7. あなた自身の学習活動を評価した場合、最終成績 (スコア) はどれだと思いますか			
設問	回答数	比率	加重平均
優(4点)	591	0.35	3.19
良(3点)	857	0.50	
可(2点)	246	0.14	
不可(1点)	9	0.01	

8. 総合的にみて、この授業のあなた自身の満足度はどれだと思いますか			
設問	回答数	比率	加重平均
満足(4点)	990	0.58	3.53
どちらかという満足(3点)	640	0.38	
どちらかという不満足(2点)	60	0.04	
不満足(1点)	13	0.01	

## 4-5 (前期：教員コメント全体)

2021年度 前期

授業アンケートに対する教員コメント (全体)

徳島文理大学

対象数 (教員の担当科目数の総和)	2,628	回答数	1,747	回答率	66.5%
-------------------	-------	-----	-------	-----	-------

1. 授業内容について				
設問	回答数	比率	加重平均	
受講生にとっては難しいと感じた [1]	224	0.13	0.11	
受講生にとっては適切であると感じた [0]	1,494	0.86		
受講生にとっては易しいと感じた [-1]	29	0.02		

2. 受講生の学習態度について				
設問	回答数	比率	加重平均	
期待通りに学習していた [4]	859	0.49	3.44	
どちらかといえば期待通りに学習していた [3]	807	0.46		
どちらかといえば期待した学習をしていなかった [2]	73	0.04		
期待した学習をしていなかった [1]	8	0.00		

3. 到達目標のクラス全体の達成度について				
設問	回答数	比率	加重平均	
ほとんどの受講生が達成したと思う (80%以上) [4]	1,040	0.60	3.54	
半分以上の受講生が達成したと思う (50~80%程度) [3]	623	0.36		
達成した受講生は比較的少ないと思う (30~50%程度) [2]	71	0.04		
達成した受講生はほとんどいないと思う (30%以下) [1]	13	0.01		

4. 前年度と比べて改善あるいは工夫された項目 (複数選択可)			
設問	回答数	選択率 (%)	
使用した教材 (教科書や資料など)	982	56.21	
教え方 (授業の進め方や話し方など)	1,174	67.20	
課外学習の内容	385	22.04	
評価方法	359	20.55	
今回がはじめての担当であった (判断できない)	154	8.82	

5. 利用した教授法 (複数選択可)		
設問	回答数	選択率 (%)
次回の授業の紹介 (次回の学習の動機づけ、予習など)	703	40.24
各回の授業のふりかえり (宿題、学習を強化するもの)	903	51.69
50%以上の受講生が授業中に発表する機会	519	29.71
受講生同士の交流 (議論や教えあい、グループワーク)	636	36.41
情報通信技術の利用 (オフィスソフト、学習管理システム)	929	53.18
定期試験以外の学習評価	580	33.20
その他 (特徴的なもの)	153	8.76

## 4-6 (後期：大学全体)

2021年度後期 授業アンケート集計結果 (全体)				徳島文理大学
対象数 (学生の履修登録数の総和)	回答数	28,678	有効回答数	28,396
44,361	回答率	64.65%	有効回答率	99.0%
<b>1. 受講する前 (学期はじめ) に、あなたはこの授業のシラバスを読みましたか</b>				
設問	回答数	比率	加重平均	
全体的に読んだ(4点)	10,955	0.39	3.00	
部分的に読んだ(3点)	12,412	0.44		
ほとんど読まなかった(2点)	1,384	0.05		
まったく読まなかった(1点)	1,383	0.05		
<b>2. 受講する前 (学期はじめ)、あなたはこの授業に興味 (学習意欲) がありましたか</b>				
設問	回答数	比率	加重平均	
とても興味があった(4点)	10,458	0.37	3.24	
どちらかというに興味があった(3点)	14,820	0.52		
どちらかというに興味がなかった(2点)	2,676	0.09		
まったく興味がなかった(1点)	442	0.02		
<b>3. あなたにとってこの授業の全体的な内容は理解しやすいものでしたか</b>				
設問	回答数	比率	加重平均	
わかりやすい内容であった(4点)	15,181	0.53	3.45	
どちらかというわかりやすい内容であった(3点)	11,128	0.39		
どちらかというわかりにくい内容であった(2点)	1,757	0.06		
わかりにくい内容であった(1点)	330	0.01		
<b>5. あなたがこの授業を受けたことによって得られたと思うものをすべて選択してください</b>				
設問	回答数	選択率(%)		
専門的な知識・技能	25,331	89.21		
自立性	10,364	36.50		
協同性	7,229	25.46		
考え抜く力	10,787	37.99		
交渉力	4,691	16.52		
発信力	4,145	14.60		
<b>6. この授業に関して良いと思うものをすべて選択してください</b>				
設問	回答数	選択率(%)		
説明内容	20,719	72.96		
授業の進め方	16,612	58.50		
教科書・パワーポイントなどの資料	13,135	46.26		
課題や宿題の内容 (量も含む)	9,143	32.20		
教室の設備	8,450	29.76		
<b>7. あなた自身の学習活動を評価した場合、最終成績 (スコア) はどれだと思いますか</b>				
設問	回答数	比率	加重平均	
優(4点)	11,217	0.40	3.20	
良(3点)	11,856	0.42		
可(2点)	5,149	0.18		
不可(1点)	174	0.01		
<b>8. 総合的にみて、この授業のあなた自身の満足度はどれだと思いますか</b>				
設問	回答数	比率	加重平均	
満足(4点)	15,396	0.54	3.49	
どちらかという満足(3点)	11,807	0.42		
どちらかという不満足(2点)	1,003	0.04		
不満足(1点)	190	0.01		

#### 4-7 (後期：学部・大学院全体)

2021年度後期 授業アンケート集計結果 (学部・大学院) 徳島文理大学

対象数 (学生の履修登録数の総和)	回答数	27,255	有効回答数	26,999
42,555	回答率	64.05%	有効回答率	99.1%

1. 受講する前 (学期はじめ) に、あなたはこの授業のシラバスを読みましたか			
設問	回答数	比率	加重平均
全体的に読んだ(4点)	10,462	0.39	3.01
部分的に読んだ(3点)	11,801	0.44	
ほとんど読まなかった(2点)	1,298	0.05	
まったく読まなかった(1点)	1,297	0.05	

2. 受講する前 (学期はじめ)、あなたはこの授業に興味 (学習意欲) がありましたか			
設問	回答数	比率	加重平均
とても興味があった(4点)	9,895	0.37	3.24
どちらかというに興味があった(3点)	14,155	0.52	
どちらかというに興味がなかった(2点)	2,524	0.09	
まったく興味がなかった(1点)	425	0.02	

3. あなたにとってこの授業の全体的な内容は理解しやすいものでしたか			
設問	回答数	比率	加重平均
わかりやすい内容であった(4点)	14,355	0.53	3.45
どちらかというわかりやすい内容であった(3点)	10,638	0.39	
どちらかというわかりにくい内容であった(2点)	1,690	0.06	
わかりにくい内容であった(1点)	316	0.01	

5. あなたがこの授業を受けたことによって得られたと思うものをすべて選択してください		
設問	回答数	選択率(%)
専門的な知識・技能	24,101	89.27
自立性	9,917	36.73
協同性	6,864	25.42
考え抜く力	10,249	37.96
交渉力	4,441	16.45
発信力	3,887	14.40

6. この授業に関して良いと思うものをすべて選択してください		
設問	回答数	選択率(%)
説明内容	19,640	72.74
授業の進め方	15,780	58.45
教科書・パワーポイントなどの資料	12,504	46.31
課題や宿題の内容 (量も含む)	8,663	32.09
教室の設備	7,901	29.26

7. あなた自身の学習活動を評価した場合、最終成績 (スコア) はどれだと思いますか			
設問	回答数	比率	加重平均
優(4点)	10,630	0.39	3.20
良(3点)	11,228	0.42	
可(2点)	4,973	0.18	
不可(1点)	168	0.01	

8. 総合的にみて、この授業のあなた自身の満足度はどれだと思いますか			
設問	回答数	比率	加重平均
満足(4点)	14,570	0.54	3.49
どちらかという満足(3点)	11,291	0.42	
どちらかという不満足(2点)	955	0.04	
不満足(1点)	183	0.01	

## 4-8 (後期：短期大学部全体)

2021年度後期 授業アンケート集計結果 (短期学部) 徳島文理大学

対象数 (学生の履修登録数の総和)	回答数	1,423	有効回答数	1,397
1,806	回答率	78.79%	有効回答率	98.2%

1. 受講する前 (学期はじめ) に、あなたはこの授業のシラバスを読みましたか			
設問	回答数	比率	加重平均
全体的に読んだ(4点)	493	0.35	2.91
部分的に読んだ(3点)	611	0.44	
ほとんど読まなかった(2点)	87	0.06	
まったく読まなかった(1点)	86	0.06	

2. 受講する前 (学期はじめ) 、あなたはこの授業に興味 (学習意欲) がありましたか			
設問	回答数	比率	加重平均
とても興味があった(4点)	563	0.40	3.27
どちらかというに興味があった(3点)	665	0.48	
どちらかというに興味がなかった(2点)	152	0.11	
まったく興味がなかった(1点)	17	0.01	

3. あなたにとってこの授業の全体的な内容は理解しやすいものでしたか			
設問	回答数	比率	加重平均
わかりやすい内容であった(4点)	826	0.59	3.52
どちらかというわかりやすい内容であった(3点)	490	0.35	
どちらかというわかりにくい内容であった(2点)	67	0.05	
わかりにくい内容であった(1点)	14	0.01	

5. あなたがこの授業を受けたことによって得られたと思うものをすべて選択してください		
設問	回答数	選択率(%)
専門的な知識・技能	1,230	88.05
自立性	447	32.00
協同性	365	26.13
考え抜く力	538	38.51
交渉力	250	17.90
発信力	258	18.47

6. この授業に関して良いと思うものをすべて選択してください		
設問	回答数	選択率(%)
説明内容	1,079	77.24
授業の進め方	832	59.56
教科書・パワーポイントなどの資料	631	45.17
課題や宿題の内容 (量も含む)	480	34.36
教室の設備	549	39.30

7. あなた自身の学習活動を評価した場合、最終成績 (スコア) はどれだと思いますか			
設問	回答数	比率	加重平均
優(4点)	587	0.42	3.29
良(3点)	628	0.45	
可(2点)	176	0.13	
不可(1点)	6	0.00	

8. 総合的にみて、この授業のあなた自身の満足度はどれだと思いますか			
設問	回答数	比率	加重平均
満足(4点)	826	0.59	3.55
どちらかという満足(3点)	516	0.37	
どちらかという不満足(2点)	48	0.03	
不満足(1点)	7	0.01	

#### 4-9 (後期：教員コメント全体)

2021年度 後期 授業アンケートに対する教員コメント (全体) 徳島文理大学

対象数 (教員の担当科目数の総和)	2,712	回答数	1,804	回答率	66.5%
-------------------	-------	-----	-------	-----	-------

1. 授業内容について			
設問	回答数	比率	加重平均
受講生にとっては難しいと感じた [1]	238	0.13	0.12
受講生にとっては適切であると感じた [0]	1,538	0.85	
受講生にとっては易しいと感じた [-1]	28	0.02	

2. 受講生の学習態度について			
設問	回答数	比率	加重平均
期待通りに学習していた [4]	831	0.46	3.40
どちらかといえば期待通りに学習していた [3]	878	0.49	
どちらかといえば期待した学習をしていなかった [2]	83	0.05	
期待した学習をしていなかった [1]	12	0.01	

3. 到達目標のクラス全体の達成度について			
設問	回答数	比率	加重平均
ほとんどの受講生が達成したと思う (80%以上) [4]	1,071	0.59	3.56
半分以上の受講生が達成したと思う (50~80%程度) [3]	673	0.37	
達成した受講生は比較的少ないと思う (30~50%程度) [2]	51	0.03	
達成した受講生はほとんどいないと思う (30%以下) [1]	9	0.00	

4. 前年度と比べて改善あるいは工夫された項目 (複数選択可)		
設問	回答数	選択率(%)
使用した教材 (教科書や資料など)	991	54.93
教え方 (授業の進め方や話し方など)	1,243	68.90
課外学習の内容	420	23.28
評価方法	358	19.84
今回がはじめての担当であった (判断できない)	175	9.70

5. 利用した教授法 (複数選択可)		
設問	回答数	選択率(%)
次回の授業の紹介 (次回の学習の動機づけ、予習など)	759	42.07
各回の授業のふりかえり (宿題、学習を強化するもの)	923	51.16
50%以上の受講生が授業中に発表する機会	559	30.99
受講生同士の交流 (議論や教えあい、グループワーク)	718	39.80
情報通信技術の利用 (オフィスソフト、学習管理システム)	906	50.22
定期試験以外の学習評価	565	31.32
その他 (特徴的なもの)	206	11.42



## 4-10（アンケートの内容）

1. 受講する前（学期はじめ）に、あなたはこの授業のシラバスを読みましたか（ひとつ選択）〔必須〕
  - ・全体的に読んだ
  - ・部分的に読んだ
  - ・ほとんど読まなかった
  - ・まったく読まなかった
2. 受講する前（学期はじめ）に、あなたはこの授業に興味（学習意欲）がありましたか（ひとつ選択）〔必須〕
  - ・とても興味があった
  - ・どちらかというに興味があった
  - ・どちらかというに興味がなかった
  - ・まったく興味がなかった
3. あなたにとってこの授業の全体的な内容は理解しやすいものでしたか（ひとつ選択）〔必須〕
  - ・わかりやすい内容であった
  - ・どちらかというわかりやすい内容であった
  - ・どちらかというわかりにくい内容であった
  - ・わかりにくい内容であった
4. この授業で記憶（印象）に残ったキーワードを5つ挙げてください（各15文字以内）〔3つ必須〕
5. あなたがこの授業を受けたことによって得られたと思うものをすべて選択してください。選択肢以外のものがあればその他に記入してください（複数選択可）
  - ・専門的な知識・技能
  - ・自立性（自分で課題や疑問を解決する力、前に踏み出す力、自己管理力）
  - ・協同性（仲間との協調性、チームで取り組む能力）
  - ・考え抜く力（問題解決力）
  - ・交渉力（コミュニケーションスキル）
  - ・発信力（プレゼンテーション能力、表現力、情報収集力）
  - ・その他：
6. この授業に関して良いと思うものをすべて選択してください。選択肢以外のものがあればその他に記入してください（複数選択可）
  - ・説明内容（わかりやすい説明など）
  - ・授業の進め方（時間配分など）
  - ・教科書・パワーポイントなどの教材・資料
  - ・課題や宿題の内容（量も含む）
  - ・学習環境（教室の設備など）
  - ・その他：
7. この授業での学習活動を振り返ってください。あなたがあなた自身を評価した場合、最終成績（スコア）はどれだと思いますか（ひとつ選択）〔必須〕
  - ・優（80～100点）
  - ・良（70～79点）
  - ・可（60～69点）
  - ・不可（60点未満）
8. 総合的にみて、この授業のあなた自身の満足度はどれだと思いますか（ひとつ選択）〔必須〕
  - ・満足
  - ・どちらかという満足
  - ・どちらかという不満足
  - ・不満足
9. この授業について、要望・意見・改善点・感想などを記入してください（1000字以内）

## 4-11（教員コメントの内容）

1. 授業内容についてお尋ねします。次のうち該当するものを選択してください（ひとつ選択）〔必須〕
  - ・受講生にとっては難しいと感じた
  - ・受講生にとっては適切であると感じた
  - ・受講生にとっては易しいと感じた
2. 受講生の学習態度についてお尋ねします。次のうち該当するものを選択してください（ひとつ選択）〔必須〕
  - ・受講生は期待通りに学習していた
  - ・受講生はどちらかといえば期待通りに学習していた
  - ・受講生はどちらかといえば期待した学習をしていなかった
  - ・受講生は期待した学習をしていなかった
3. 到達目標のクラス全体の達成度についてお尋ねします。次のうち該当するものを選択してください（ひとつ選択）〔必須〕
  - ・ほとんどの受講生が達成したと思う（80%以上）
  - ・半分以上の受講生が達成したと思う（50%～80%程度）
  - ・達成した受講生は比較的少ないと思う（30%～50%程度）
  - ・達成した受講生はほとんどいないと思う（30%以下）
4. 次のうち前年度と比べて改善あるいは工夫された項目があればすべて選択してください（複数選択可）
  - ・使用した教材（教科書や資料など）
  - ・教え方（授業の進め方や話し方など）
  - ・課外学習の内容
  - ・評価方法
  - ・今回が初めての担当であった（判断できない）
5. 利用した教授法についてお尋ねします。次のうちこの授業で利用されたものがあればすべて選択してください（複数選択可）
  - ・次回の授業の紹介（次回の学習の動機づけになるもの、予習など）
  - ・各回の授業のふりかえり（宿題やミニツツペーパーなど学習を強化するもの）
  - ・50%以上の受講生が授業中に発表する機会
  - ・受講生同士の交流（議論や教えあい、グループワークなど）
  - ・情報通信技術の利用（パワーポイントなどのオフィスソフト、学習管理システムなど）
  - ・定期試験以外の学習評価
  - ・その他：
6. アンケート結果に対する、または受講生に対するコメントをお書きください（1000字以内）〔必須〕
7. この授業をより良いものにするために必要なことをお書きください（1000字以内）〔必須〕

## 令和3(2021)年度 前期 研究授業一覧

徳島キャンパス

授業日	曜日	講時	学部	学科	科目	受講学生数	教授法※	シラバス 科目番号	授業者	教室/クラス コード	参観 教員数	授業者	協力者
5月6日	木	3	保健福祉	看護	小児看護学概論	94	MEETを使用したリ モート授業	12247	谷 洋江	3201	17	1	0

## 令和3(2021)年度 後期 研究授業一覧

徳島キャンパス

授業日	曜日	講時	学部	学科	科目	受講学生数	教授法※	シラバス 科目番号	授業者	教室/クラス コード	参観 教員数	授業者	協力者
10月7日	木	2	保健福祉	看護	在宅看護学概論	95	一斉授業	12252	波止千恵	3807	10	1	0
10月29日	金	2	薬	薬	生理学1	58	講義	14022	川上隆茂	21-201	8	1	1
11月29日	月	2	短期大学	保育	音楽Ⅱ①	15	一斉授業	13149	疋田弘子	2508	7	1	0
12月6日	月	1	人間生活	児童	英語A②	30	講義、ペアワーク	14419	那住公子	9302	1	1	0
12月6日	月	1	人間生活	食物栄養	食品学特論	61	講義	14289	吉村英悟	9704	3	1	1
12月6日	月	2	人間生活	心理	ジェンダー論	82	講義	13653	青木 宏	9303	6	1	1
12月15日	水	2	人間生活	メディアデザイン	応用統計学	18	講義	12839	長濱太造	9501	6	1	1
1月24日	月	5	保健福祉	人間福祉	社会福祉概説	10	遠隔授業	12302	木野綾子	5sfkgzz	1	1	1

研究授業（教員相互の授業参観）記録			
学 部		学 科	
授 業 者		科 目 名 (シラバス番号)	( )
授業協力者		実 施 教 室	
実 施 日 時	平成 年 月 日 曜日 講時		
対 象 学 生			受講学生数： 名
教 授 法			
授業テーマ			
研究授業内容自己評価			
研究授業参観者の意見・感想			
授業参観教員数	名		

(様式)

研究授業（目標設定型）記録			
学 部		学 科	
実施代表者			
実施期間	平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日		
目標の説明			
対象学年 または科目	受講学生数： 名		
具体的な取組み方法			
結果			
協力教員数	名 (内訳 )		

## 令和3(2021)年度 卒業予定者対象・大学生生活満足度アンケート

実施期間	令和4年1月11日(金)～3月18日(金)		
実施人数	学部(大学院・専攻科含む)	866人	
	短期大学部	82人	
	合計	948人	
回答数・回答率	学部(大学院・専攻科含む)	568人	65.6%
	短期大学部	63人	76.8%
	合計	631人	66.6%

(回答の選択肢番号の意味)

5. そう思う
4. ややそう思う
3. どちらでもない
2. ややそう思わない
1. そう思わない

## 6-2 (大学全体)

2021年度 卒業生対象大学生生活満足度アンケート集計結果										大学全体				
性別	男性	女性	在籍年数	1,2	3,4	5,6	7,8	9以上	あなたの成績について一番多かったのは	優	良	可	対象者数	948
	271	360		80	470	76	5	0		285	255	91	回答数	631
卒業後の進路	就職	進学	未定									回答率(%)	66.6	
	505	40	86											

### II. 授業・教育課程について (全体として)

No.	設問文	回答数					平均
		5	4	3	2	1	
1	授業科目は充実していましたか	244	281	80	21	5	4.17
2	授業や実習内容はわかりやすかったですか	195	309	91	29	7	4.04
3	専門的な知識や技能(免許・資格を含む)を修得できましたか	279	248	71	24	9	4.21
4	教育に対する熱意は感じられましたか	237	270	86	31	7	4.11
5	授業以外の指導(学外実習、見学、補習など)は充実していましたか	226	231	117	39	18	3.96
6	課題(宿題やレポートなど)の量は適切でしたか	210	257	123	28	13	3.99

### III. 大学の設備および支援体制についてお尋ねします (全体として)

No.	設問文	回答数					平均
		5	4	3	2	1	
1	就職や進路についての相談・支援は役に立ちましたか	259	220	97	30	25	4.04
2	図書館は利用しやすかったですか	283	209	94	31	14	4.13
3	学内のPCやWi-Fiサービスは利用しやすかったですか	209	206	106	77	33	3.76
4	授業や実験・実習に必要な設備は整っていましたか	273	239	85	22	12	4.17
5	食堂や売店・コンビニに満足していましたか	263	215	73	55	25	4.01
6	困ったことがあった場合、相談できる体制は整っていましたか	214	241	110	37	29	3.91

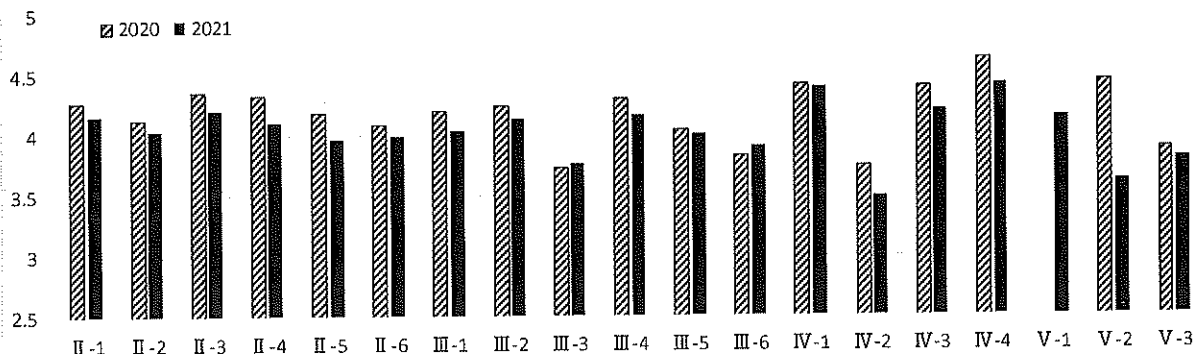
### IV. キャンパスライフについてお尋ねします

No.	設問文	回答数					平均
		5	4	3	2	1	
1	キャンパスは清潔でしたか	346	213	50	15	7	4.39
2	課外活動(部活やイベントなど)に満足しましたか	148	157	229	51	46	3.49
3	頼りになる教員に出会えましたか	318	191	73	31	18	4.20
4	よき友と出会えましたか	400	137	65	17	12	4.42

### V. 総合評価をお願いします

No.	設問文	回答数					平均
		5	4	3	2	1	
1	入学時の夢をかなえることができましたか	272	236	84	26	13	4.15
2	総合的にみて、本学での学生生活はよかったですか	171	204	155	51	50	3.63
3	知り合いの高校生に本学への進学を勧めたいと思いますか	200	210	151	37	33	3.80

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらでもない 2:あまりそう思わない 1:そう思わない)



### 6-3 (大学院・専攻科・学部全体)

2021年度 卒業生対象大学生生活満足度アンケート集計結果										大学院・専攻科・学部全体	
性別	男性	女性	在籍年数	1,2	3,4	5,6	7,8	9以上	対象者数	866	
	263	305		17	470	76	5	0		回答数	568
卒業後の進路	就職	進学	未定	あなたの成績について一番多かったのは			優	良	可	回答率(%)	65.6
	452	35	81	252	231	85					

#### II. 授業・教育課程について (全体として)

No.	設問文	回答数					平均
		5	4	3	2	1	
1	授業科目は充実していましたか	221	251	74	17	5	4.17
2	授業や実習内容はわかりやすかったですか	175	280	80	26	7	4.04
3	専門的な知識や技能(免許・資格を含む)を修得できましたか	246	227	67	21	7	4.20
4	教育に対する熱意は感じられましたか	214	242	78	27	7	4.11
5	授業以外の指導(学外実習、見学、補習など)は充実していましたか	202	211	106	33	16	3.97
6	課題(宿題やレポートなど)の量は適切でしたか	190	227	112	27	12	3.98

#### III. 大学の設備および支援体制についてお尋ねします (全体として)

No.	設問文	回答数					平均
		5	4	3	2	1	
1	就職や進路についての相談・支援は役に立ちましたか	228	199	89	27	25	4.02
2	図書館は利用しやすかったですか	258	190	81	25	14	4.15
3	学内のPCやWi-Fiサービスは利用しやすかったですか	183	188	94	73	30	3.74
4	授業や実験・実習に必要な設備は整っていましたか	244	219	73	21	11	4.17
5	食堂や売店・コンビニに満足していましたか	226	200	65	52	25	3.97
6	困ったことがあった場合、相談できる体制は整っていましたか	190	219	100	32	27	3.90

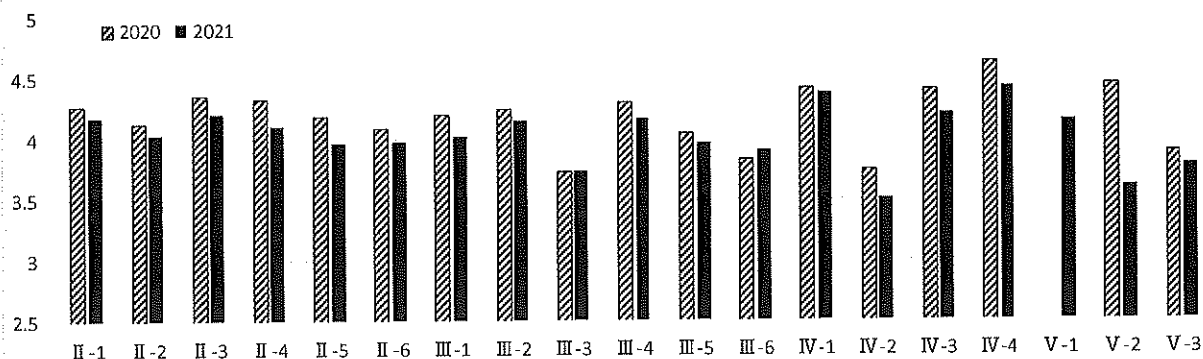
#### IV. キャンパスライフについてお尋ねします

No.	設問文	回答数					平均
		5	4	3	2	1	
1	キャンパスは清潔でしたか	305	199	43	15	6	4.38
2	課外活動(部活やイベントなど)に満足しましたか	132	149	204	43	40	3.51
3	頼りになる教員に出会えましたか	286	173	64	28	17	4.20
4	よき友と出会えましたか	357	127	60	14	10	4.42

#### V. 総合評価をお願いします

No.	設問文	回答数					平均
		5	4	3	2	1	
1	入学時の夢をかなえることができましたか	246	210	78	22	12	4.15
2	総合的にみて、本学での学生生活はよかったですか	147	192	135	45	49	3.60
3	知り合いの高校生に本学への進学を勧めたいと思いますか	176	188	140	34	30	3.79

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらでもない 2:あまりそう思わない 1:そう思わない)





## 6-4 (短期大学部全体)

2021年度 卒業生対象大学生生活満足度アンケート集計結果							短期大学部 (全体)				
性別	男性	女性	在籍年数	1,2	3,4	5,6	7,8	9以上	対象者数	82	
	8	55		63	0	0	0	0	回答数	63	
卒業後の進路	就職	進学	未定	あなたの成績について一番多かったのは			優	良	可	回答率(%)	76.8
	53	5	5	33	24	6					

### II. 授業・教育課程について (全体として)

No.	設問文	回答数					平均
		5	4	3	2	1	
1	授業科目は充実していましたか	23	30	6	4	0	4.14
2	授業や実習内容はわかりやすかったですか	20	29	11	3	0	4.05
3	専門的な知識や技能(免許・資格を含む)を修得できましたか	33	21	4	3	2	4.27
4	教育に対する熱意は感じられましたか	23	28	8	4	0	4.11
5	授業以外の指導(学外実習、見学、補習など)は充実していましたか	24	20	11	6	2	3.92
6	課題(宿題やレポートなど)の量は適切でしたか	20	30	11	1	1	4.06

### III. 大学の設備および支援体制についてお尋ねします (全体として)

No.	設問文	回答数					平均
		5	4	3	2	1	
1	就職や進路についての相談・支援は役に立ちましたか	31	21	8	3	0	4.27
2	図書館は利用しやすかったですか	25	19	13	6	0	4.00
3	学内のPCやWi-Fiサービスは利用しやすかったですか	26	18	12	4	3	3.95
4	授業や実験・実習に必要な設備は整っていましたか	29	20	12	1	1	4.19
5	食堂や売店・コンビニに満足していましたか	37	15	8	3	0	4.37
6	困ったことがあった場合、相談できる体制は整っていましたか	24	22	10	5	2	3.97

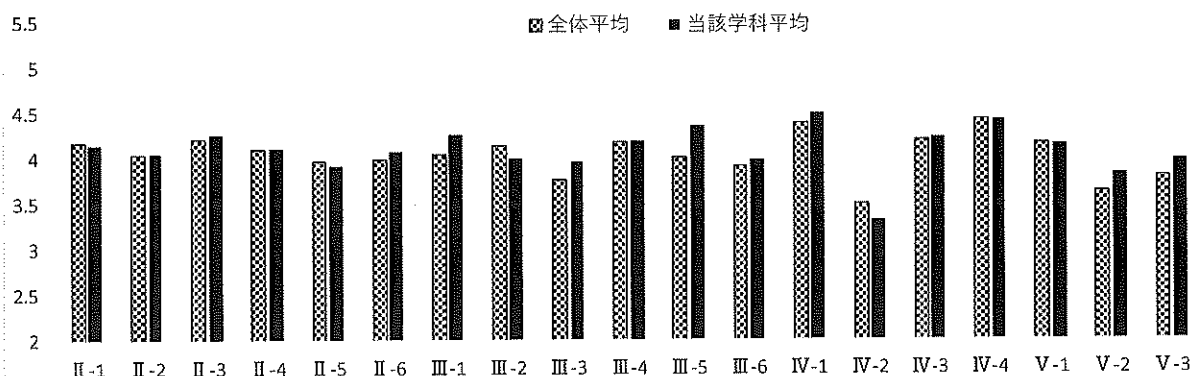
### IV. キャンパスライフについてお尋ねします

No.	設問文	回答数					平均
		5	4	3	2	1	
1	キャンパスは清潔でしたか	41	14	7	0	1	4.49
2	課外活動(部活やイベントなど)に満足しましたか	16	8	25	8	6	3.32
3	頼りになる教員に出会えましたか	32	18	9	3	1	4.22
4	よき友と出会えましたか	43	10	5	3	2	4.41

### V. 総合評価をお願いします

No.	設問文	回答数					平均
		5	4	3	2	1	
1	入学時の夢をかなえることができましたか	26	26	6	4	1	4.14
2	総合的にみて、本学での学生生活はよかったですか	24	12	20	6	1	3.83
3	知り合いの高校生に本学への進学を勧めたいと思いますか	24	22	11	3	3	3.97

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらでもない 2:あまりそう思わない 1:そう思わない)



## 6-5 (アンケートの内容)

### I 回答者(あなた)についてお尋ねします

- 1 性別を教えてください [必須]
  - ・女性
  - ・男性
- 2 現所属学科の在籍年数を教えてください [必須]
  - ・1年
  - ・2年
  - ・3年
  - ・4年
  - ・5年
  - ・6年
  - ・7年
  - ・8年
  - ・9年以上
- 3 卒業後の進路(回答時の状態)について教えてください [必須]
  - ・就職
  - ・進学
  - ・未定
- 4 あなたの成績について教えてください [必須]
  - ・いちばん多かったのは「優」だと思う
  - ・いちばん多かったのは「良」だと思う
  - ・いちばん多かったのは「可」だと思う

### II 授業・教育課程についてお尋ねします(全体として)

- 1 授業科目は充実していましたか [必須]
  - ・そう思う
  - ・ややそう思う
  - ・どちらでもない
  - ・あまりそう思わない
  - ・そう思わない
- 2 授業や実習内容はわかりやすかったですか [必須]
  - ・そう思う
  - ・ややそう思う
  - ・どちらでもない
  - ・あまりそう思わない
  - ・そう思わない
- 3 専門的な知識や技能(免許・資格を含む)を修得できましたか [必須]
  - ・そう思う
  - ・ややそう思う
  - ・どちらでもない
  - ・あまりそう思わない
  - ・そう思わない
- 4 教育に対する熱意は感じられましたか [必須]
  - ・そう思う
  - ・ややそう思う
  - ・どちらでもない
  - ・あまりそう思わない
  - ・そう思わない
- 5 授業以外の指導(学外実習、見学、補習など)は充実していましたか [必須]
  - ・そう思う
  - ・ややそう思う
  - ・どちらでもない
  - ・あまりそう思わない
  - ・そう思わない
- 6 課題(宿題やレポートなど)の量は適切でしたか [必須]
  - ・そう思う
  - ・ややそう思う
  - ・どちらでもない
  - ・あまりそう思わない
  - ・そう思わない

### III 大学の設備および支援体制についてお尋ねします(全体として)

- 1 就職や進路についての相談・支援は役に立ちましたか [必須]
  - ・そう思う
  - ・ややそう思う
  - ・どちらでもない
  - ・あまりそう思わない
  - ・そう思わない
- 2 図書館は利用しやすかったですか [必須]
  - ・そう思う
  - ・ややそう思う
  - ・どちらでもない
  - ・あまりそう思わない
  - ・そう思わない
- 3 学内のPCやWi-Fiサービスは利用しやすかったですか [必須]
  - ・そう思う
  - ・ややそう思う
  - ・どちらでもない
  - ・あまりそう思わない
  - ・そう思わない
- 4 授業や実験・実習に必要な設備は整っていましたか [必須]
  - ・そう思う
  - ・ややそう思う
  - ・どちらでもない
  - ・あまりそう思わない
  - ・そう思わない
- 5 食堂や売店・コンビニに満足していましたか [必須]
  - ・そう思う
  - ・ややそう思う
  - ・どちらでもない
  - ・あまりそう思わない
  - ・そう思わない
- 6 困ったことがあった場合、相談できる体制は整っていましたか [必須]
  - ・そう思う
  - ・ややそう思う
  - ・どちらでもない
  - ・あまりそう思わない
  - ・そう思わない

### IV キャンパスライフについてお尋ねします

- 1 キャンパスは清潔でしたか [必須]
  - ・そう思う
  - ・ややそう思う
  - ・どちらでもない
  - ・あまりそう思わない
  - ・そう思わない
- 2 課外活動(部活やイベントなど)に満足しましたか [必須]
  - ・そう思う
  - ・ややそう思う
  - ・どちらでもない
  - ・あまりそう思わない
  - ・そう思わない
- 3 頼りになる教員に出会えましたか [必須]
  - ・そう思う
  - ・ややそう思う
  - ・どちらでもない
  - ・あまりそう思わない
  - ・そう思わない
- 4 よき友と出会えましたか [必須]
  - ・そう思う
  - ・ややそう思う
  - ・どちらでもない
  - ・あまりそう思わない
  - ・そう思わない

### V 総合評価をお尋ねします

- 1 入学時の夢をかなえることができましたか [必須]
  - ・そう思う
  - ・ややそう思う
  - ・どちらでもない
  - ・あまりそう思わない
  - ・そう思わない
- 2 総合的にみて、本学での学生生活はよかったですか [必須]
  - ・そう思う
  - ・ややそう思う
  - ・どちらでもない
  - ・あまりそう思わない
  - ・そう思わない
- 3 知り合いの高校生に本学への進学を勧めたいと思いますか [必須]
  - ・そう思う
  - ・ややそう思う
  - ・どちらでもない
  - ・あまりそう思わない
  - ・そう思わない

### VI 本学で良かった点(カリキュラム、設備、お世話になった教員・スタッフ名など)を具体的に書きください(2000字以内)

### VII ご要望・ご意見・改善案などをお書きください(2000字以内)

## 令和3(2021)年度 在学生対象・学修状況アンケート

実施期間	令和4年1月11日(金)～3月18日(金)		
実施人数	学部(大学院・専攻科含む)	4137人	
	短期大学部	154人	
	合 計	4291人	
回答数・回答率	学部(大学院・専攻科含む)	2174人	52.6%
	短期大学部	119人	77.3%
	合 計	2293人	53.4%

## 7-2 (大学全体)

在学生対象・学修状況アンケート集計結果				徳島文理大学	
実施年度	2021年度	対象	大学全体		
対象者数	4291	回答数	2293	回答率(%)	53.4
1) いま、あなたが大学でやりたいことをすべて選択してください【複数選択可】					
設問	回答数	選択率			
専門的な勉強	1978	0.86			
基礎的な勉強（語学やプレゼンスキルなど）	1181	0.52			
最先端の研究	284	0.12			
資格や免許の取得	1465	0.64			
社会貢献（ボランティアなど）	389	0.17			
自由な時間を楽しむ（旅行や読書、芸術活動など）	1235	0.54			
学友との交流（サークル活動を含む）	936	0.41			
起業などのビジネス	73	0.03			
スポーツやトレーニング	336	0.15			
その他	13	0.01			
2) この一年間、授業時間を除いた一日あたりの平均的な学修時間を選択してください【必須】					
設問	回答数	比率	加重平均		
1時間未満(0点)	640	0.28	1.25		
1時間～2時間(1点)	936	0.41			
2時間～3時間(2点)	445	0.19			
3時間～4時間(3点)	126	0.05			
4時間～5時間(4点)	69	0.03			
5時間以上(5点)	77	0.03			
3) 先ほどの平均的な学修時間は昨年と比較してどうですか【必須】					
設問	回答数	比率	加重平均		
増加した(1点)	851	0.37	0.23		
変わらない(0点)	1129	0.49			
減少した(-1点)	313	0.14			
4) いま、あなたの卒業後の具体的な目標（夢）が言えますか【必須】					
設問	回答数	比率	加重平均		
言える(1点)	1437	0.63	0.63		
言えない(0点)	856	0.37			
5) この一年間、ボランティア活動に参加しましたか【必須】					
設問	回答数	比率	加重平均		
参加した(1点)	529	0.23	0.23		
参加していない(0点)	1764	0.77			
6) 学内にクラスメイト以外の友人や知人はいますか【必須】					
設問	回答数	比率	加重平均		
いる(1点)	1925	0.84	0.84		
いない(0点)	368	0.16			
7) この一年間、定期的にアルバイトをしていましたか【必須】					
設問	回答数	比率	加重平均		
していた(1点)	1352	0.59	0.59		
していない(0点)	941	0.41			
《授業・教育課程について》					
8) この一年間に受講した授業科目数は多いと感じましたか【必須】					
設問	回答数	比率	加重平均		
そう思う(5点)	591	0.26	3.56		
ややそう思う(4点)	650	0.28			
どちらでもない(3点)	625	0.27			
あまりそう思わない(2点)	296	0.13			
そう思わない(1点)	131	0.06			

9) この一年間に受講した授業内容はむずかしいと感じましたか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
そう思う(5点)	791	0.34	3.90
ややそう思う(4点)	825	0.36	
どちらでもない(3点)	403	0.18	
あまりそう思わない(2点)	202	0.09	
そう思わない(1点)	72	0.03	
10) この一年間、課題(宿題やレポートなど)の量は多いと感じましたか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
そう思う(5点)	495	0.22	3.46
ややそう思う(4点)	625	0.27	
どちらでもない(3点)	734	0.32	
あまりそう思わない(2点)	314	0.14	
そう思わない(1点)	125	0.05	
11) この一年間、授業以外の学修活動(学外実習、見学、補習など)に参加しましたか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
参加した(1点)	886	0.39	0.39
参加していない(0点)	1407	0.61	
《大学の設備および支援体制について》			
12) この一年間、図書館を利用したことがありますか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
利用した(1点)	1994	0.87	0.87
利用していない(0点)	299	0.13	
13) この一年間、クラブやサークルで活動しましたか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
活動した(1点)	729	0.32	0.32
活動していない(0点)	1564	0.68	
14) この一年間、学内の食堂を利用したことがありますか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
利用したことがある(1点)	1768	0.77	0.77
利用したことがない(0点)	525	0.23	
15) この一年間、学内の売店(コンビニなど)を利用したことがありますか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
利用したことがある(1点)	2212	0.96	0.96
利用したことがない(0点)	81	0.04	
16) この一年間、教員または職員と個人的な面談をしたことがありますか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
したことがある(1点)	1761	0.77	0.77
したことがない(0点)	532	0.23	
17) この一年間、健康診断以外で保健センターを利用したことがありますか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
利用したことがある(1点)	586	0.26	0.26
利用したことがない(0点)	1707	0.74	
18) この一年間、学内のWi-Fiサービスを利用したことがありますか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
利用したことがある(1点)	2000	0.87	0.87
利用したことがない(0点)	293	0.13	
《総合評価》			
19) この一年間に本学で体験したこと(学修や課外活動など)に満足しましたか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
そう思う(5点)	550	0.24	3.84
ややそう思う(4点)	1066	0.46	
どちらでもない(3点)	492	0.21	
あまりそう思わない(2点)	123	0.05	
そう思わない(1点)	62	0.03	

## 7-3 (大学院・専攻科・学部全体)

在学対象・学修状況アンケート集計結果				徳島文理大学	
実施年度	2021年度	対象	大学院・専攻科・学部全体		
対象者数	4137	回答数	2174	回答率(%)	52.6
1) いま、あなたが大学でやりたいことをすべて選択してください。【複数選択可】					
設問	回答数	選択率			
専門的な勉強	1878	0.86			
基礎的な勉強(語学やプレゼンスキルなど)	1130	0.52			
最先端の研究	278	0.13			
資格や免許の取得	1382	0.64			
社会貢献(ボランティアなど)	377	0.17			
自由な時間を楽しむ(旅行や読書、芸術活動など)	1179	0.54			
学友との交流(サークル活動を含む)	898	0.41			
起業などのビジネス	71	0.03			
スポーツやトレーニング	328	0.15			
その他	13	0.01			
2) この一年間、授業時間を除いた一日あたりの平均的な学修時間を選択してください。【必須】					
設問	回答数	比率	加重平均		
1時間未満(0点)	579	0.27	1.31		
1時間～2時間(1点)	895	0.41			
2時間～3時間(2点)	433	0.20			
3時間～4時間(3点)	123	0.06			
4時間～5時間(4点)	67	0.03			
5時間以上(5点)	77	0.04			
3) 先ほどの平均的な学修時間は昨年と比較してどうですか。【必須】					
設問	回答数	比率	加重平均		
増加した(1点)	828	0.38	0.24		
変わらない(0点)	1048	0.48			
減少した(-1点)	298	0.14			
4) いま、あなたの卒業後の具体的な目標(夢)が言えますか。【必須】					
設問	回答数	比率	加重平均		
言える(1点)	1377	0.63	0.63		
言えない(0点)	797	0.37			
5) この一年間、ボランティア活動に参加しましたか。【必須】					
設問	回答数	比率	加重平均		
参加した(1点)	494	0.23	0.23		
参加していない(0点)	1680	0.77			
6) 学内にクラスメイト以外の友人や知人はいますか。【必須】					
設問	回答数	比率	加重平均		
いる(1点)	1822	0.84	0.84		
いない(0点)	352	0.16			
7) この一年間、定期的にアルバイトをしていましたか。【必須】					
設問	回答数	比率	加重平均		
していた(1点)	1276	0.59	0.59		
していない(0点)	898	0.41			
《授業・教育課程について》					
8) この一年間に受講した授業科目数は多いと感じましたか。【必須】					
設問	回答数	比率	加重平均		
そう思う(5点)	556	0.26	3.58		
ややそう思う(4点)	616	0.28			
どちらでもない(3点)	601	0.28			
あまりそう思わない(2点)	276	0.13			
そう思わない(1点)	125	0.06			

9) この一年間に受講した授業内容はむずかしいと感じましたか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
そう思う(5点)	758	0.35	3.92
ややそう思う(4点)	787	0.36	
どちらでもない(3点)	382	0.18	
あまりそう思わない(2点)	182	0.08	
そう思わない(1点)	65	0.03	
10) この一年間、課題(宿題やレポートなど)の量は多いと感じましたか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
そう思う(5点)	477	0.22	3.49
ややそう思う(4点)	602	0.28	
どちらでもない(3点)	691	0.32	
あまりそう思わない(2点)	285	0.13	
そう思わない(1点)	119	0.05	
11) この一年間、授業以外の学修活動(学外実習、見学、補習など)に参加しましたか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
参加した(1点)	831	0.38	0.38
参加していない(0点)	1343	0.62	
《大学の設備および支援体制について》			
12) この一年間、図書館を利用したことがありますか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
利用した(1点)	1901	0.87	0.87
利用していない(0点)	273	0.13	
13) この一年間、クラブやサークルで活動しましたか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
活動した(1点)	713	0.33	0.33
活動していない(0点)	1461	0.67	
14) この一年間、学内の食堂を利用したことがありますか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
利用したことがある(1点)	1676	0.77	0.77
利用したことがない(0点)	498	0.23	
15) この一年間、学内の売店(コンビニなど)を利用したことがありますか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
利用したことがある(1点)	2096	0.96	0.96
利用したことがない(0点)	78	0.04	
16) この一年間、教員または職員と個人的な面談をしたことがありますか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
したことがある(1点)	1661	0.76	0.76
したことがない(0点)	513	0.24	
17) この一年間、健康診断以外で保健センターを利用したことがありますか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
利用したことがある(1点)	543	0.25	0.25
利用したことがない(0点)	1631	0.75	
18) この一年間、学内のWi-Fiサービスを利用したことがありますか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
利用したことがある(1点)	1905	0.88	0.88
利用したことがない(0点)	269	0.12	
《総合評価》			
19) この一年間に本学で体験したこと(学修や課外活動など)に満足しましたか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
そう思う(5点)	511	0.24	3.87
ややそう思う(4点)	1015	0.47	
どちらでもない(3点)	473	0.22	
あまりそう思わない(2点)	114	0.05	
そう思わない(1点)	61	0.03	

## 7-4 (短期大学部全体)

在学対象・学修状況アンケート集計結果				徳島文理大学	
実施年度	2021年度	対象	短期大学部		
対象者数	154	回答数	119	回答率(%)	77.3
1) いま、あなたが大学でやりたいことをすべて選択してください [複数選択可]					
設問	回答数	選択率			
専門的な勉強	100	0.84			
基礎的な勉強 (語学やプレゼンスキルなど)	51	0.43			
最先端の研究	6	0.05			
資格や免許の取得	83	0.70			
社会貢献 (ボランティアなど)	12	0.10			
自由な時間を楽しむ (旅行や読書、芸術活動など)	56	0.47			
学友との交流 (サークル活動を含む)	38	0.32			
起業などのビジネス	2	0.02			
スポーツやトレーニング	8	0.07			
その他	0	0.00			
2) この一年間、授業時間を除いた一日あたりの平均的な学修時間を選択してください [必須]					
設問	回答数	比率	加重平均		
1時間未満(0点)	61	0.51	0.71		
1時間～2時間(1点)	41	0.34			
2時間～3時間(2点)	12	0.10			
3時間～4時間(3点)	3	0.03			
4時間～5時間(4点)	2	0.02			
5時間以上(5点)	0	0.00			
3) 先ほどの平均的な学修時間は昨年と比較してどうですか [必須]					
設問	回答数	比率	加重平均		
増加した(1点)	23	0.19	0.06		
変わらない(0点)	81	0.68			
減少した(-1点)	15	0.13			
4) いま、あなたの卒業後の具体的な目標 (夢) が言えますか [必須]					
設問	回答数	比率	加重平均		
言える(1点)	60	0.50	0.50		
言えない(0点)	59	0.50			
5) この一年間、ボランティア活動に参加しましたか [必須]					
設問	回答数	比率	加重平均		
参加した(1点)	35	0.29	0.29		
参加していない(0点)	84	0.71			
6) 学内にクラスメイト以外の友人や知人はいますか [必須]					
設問	回答数	比率	加重平均		
いる(1点)	103	0.87	0.87		
いない(0点)	16	0.13			
7) この一年間、定期的にアルバイトをしていましたか [必須]					
設問	回答数	比率	加重平均		
していた(1点)	76	0.64	0.64		
していない(0点)	43	0.36			
《授業・教育課程について》					
8) この一年間に受講した授業科目数は多いと感じましたか [必須]					
設問	回答数	比率	加重平均		
そう思う(5点)	35	0.29	3.60		
ややそう思う(4点)	34	0.29			
どちらでもない(3点)	24	0.20			
あまりそう思わない(2点)	20	0.17			
そう思わない(1点)	6	0.05			



9) この一年間に受講した授業内容はむずかしいと感じましたか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
そう思う(5点)	33	0.28	3.62
ややそう思う(4点)	38	0.32	
どちらでもない(3点)	21	0.18	
あまりそう思わない(2点)	20	0.17	
そう思わない(1点)	7	0.06	
10) この一年間、課題(宿題やレポートなど)の量は多いと感じましたか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
そう思う(5点)	18	0.15	3.12
ややそう思う(4点)	23	0.19	
どちらでもない(3点)	43	0.36	
あまりそう思わない(2点)	29	0.24	
そう思わない(1点)	6	0.05	
11) この一年間、授業以外の学修活動(学外実習、見学、補習など)に参加しましたか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
参加した(1点)	55	0.46	0.46
参加していない(0点)	64	0.54	
《大学の設備および支援体制について》			
12) この一年間、図書館を利用したことがありますか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
利用した(1点)	93	0.78	0.78
利用していない(0点)	26	0.22	
13) この一年間、クラブやサークルで活動しましたか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
活動した(1点)	16	0.13	0.13
活動していない(0点)	103	0.87	
14) この一年間、学内の食堂を利用したことがありますか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
利用したことがある(1点)	92	0.77	0.77
利用したことがない(0点)	27	0.23	
15) この一年間、学内の売店(コンビニなど)を利用したことがありますか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
利用したことがある(1点)	116	0.97	0.97
利用したことがない(0点)	3	0.03	
16) この一年間、教員または職員と個人的な面談をしたことがありますか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
したことがある(1点)	100	0.84	0.84
したことがない(0点)	19	0.16	
17) この一年間、健康診断以外で保健センターを利用したことがありますか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
利用したことがある(1点)	43	0.36	0.36
利用したことがない(0点)	76	0.64	
18) この一年間、学内のWi-Fiサービスを利用したことがありますか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
利用したことがある(1点)	95	0.80	0.80
利用したことがない(0点)	24	0.20	
《総合評価》			
19) この一年間に本学で体験したこと(学修や課外活動など)に満足しましたか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
そう思う(5点)	39	0.33	4.02
ややそう思う(4点)	51	0.43	
どちらでもない(3点)	19	0.16	
あまりそう思わない(2点)	9	0.08	
そう思わない(1点)	1	0.01	

## 7-5 (アンケートの内容)

### I 回答者(あなた)についてお尋ねします

- 1 性別を教えてください [必須]
  - ・女性
  - ・男性
- 2 現所属学科の在籍年数を教えてください [必須]
  - ・1年
  - ・2年
  - ・3年
  - ・4年
  - ・5年
  - ・6年
  - ・7年以上
- 3 いま、あなたが大学でやりたいことをすべて選択してください [複数選択可]
  - ・専門的な勉強
  - ・最先端の研究
  - ・社会貢献(ボランティアなど)
  - ・学友との交流(サークル活動を含む)
  - ・スポーツやトレーニング
  - ・基礎的な勉強(語学やプレゼンスキルなど)
  - ・資格や免許の取得
  - ・自由な時間を楽しむ(旅行や読書、芸術活動など)
  - ・起業などのビジネス
  - ・その他
- 4 この一年間、授業時間を除いた一日あたりの平均的な学修時間を選択してください [必須]
  - ・1時間未満
  - ・1時間~2時間
  - ・2時間~3時間
  - ・3時間~4時間
  - ・4時間~5時間
  - ・5時間以上
- 5 先ほどの平均的な学修時間は昨年と比較してどうですか [必須]
  - ・増加した
  - ・変わらない
  - ・減少した
- 6 いま、あなたの卒業後の具体的な目標(夢)が言えますか [必須]
  - ・言える
  - ・言えない
- 7 この一年間、ボランティア活動に参加しましたか [必須]
  - ・参加した
  - ・参加していない
- 8 学内にクラスメイト以外の友人や知人はいますか [必須]
  - ・いる
  - ・いない
- 9 この一年間、定期的にアルバイトをしていましたか [必須]
  - ・していた
  - ・していない

### II 授業・教育課程についてお尋ねします

- 1 この一年間に受講した授業科目数は多いと感じましたか [必須]
  - ・そう思う
  - ・ややそう思う
  - ・どちらでもない
  - ・あまりそう思わない
  - ・そう思わない
- 2 この一年間に受講した授業内容はむずかしいと感じましたか [必須]
  - ・そう思う
  - ・ややそう思う
  - ・どちらでもない
  - ・あまりそう思わない
  - ・そう思わない
- 3 この一年間、課題(宿題やレポートなど)の量は多いと感じましたか [必須]
  - ・そう思う
  - ・ややそう思う
  - ・どちらでもない
  - ・あまりそう思わない
  - ・そう思わない
- 4 この一年間、授業以外の学修活動(学外実習、見学、補習など)に参加しましたか [必須]
  - ・参加した
  - ・参加していない

### III 大学の設備および支援体制についてお尋ねします

- 1 この一年間、図書館を利用したことがありますか [必須]
  - ・利用したことがある
  - ・利用したことがない
- 2 この一年間、クラブやサークルで活動しましたか [必須]
  - ・活動した
  - ・活動していない
- 3 この一年間、学内の食堂を利用したことがありますか [必須]
  - ・利用したことがある
  - ・利用したことがない
- 4 この一年間、学内の売店(コンビニなど)を利用したことがありますか [必須]
  - ・利用したことがある
  - ・利用したことがない
- 5 この一年間、教員または職員と個人的な面談をしたことがありますか [必須]
  - ・したことがある
  - ・したことがない
- 6 この一年間、健康診断以外で保健センターを利用したことがありますか [必須]
  - ・利用したことがある
  - ・利用したことがない
- 7 この一年間、学内のWi-Fiサービスを利用したことがありますか [必須]
  - ・利用したことがある
  - ・利用したことがない

### IV 総合評価をお尋ねします

- 1 この一年間に本学で体験したこと(学修や課外活動など)に満足しましたか [必須]
  - ・そう思う
  - ・ややそう思う
  - ・どちらでもない
  - ・あまりそう思わない
  - ・そう思わない
- 2 この一年間にあなたが本学で体験したもっとも印象に残ったことをお書きください【自由記述】
- 3 徳島文理大学をより魅力的にするために取り組むべきことがあれば提案してください【自由記述】

## 用語解説

## 【SPOD】

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（Shikoku Professional and Organizational Development Network in Higher Education）の頭文字をとって「SPOD」と呼ばれている。四国地区の大学及び高等専門学校との連携・協働によって、地区内のFD/S D事業の推進と大学等の教育力の向上を図ることを目的として、平成20年度の文部科学省戦略的・大学連携支援事業としてスタートし、現在、四国地区にある32の高等教育機関が加盟するネットワーク。

## 【ファカルティ・ディベロップメント（FD）】

教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取り組みの総称。具体的な例としては、教員相互の授業参観の実施、授業方法についての研究会の実施、新任教員のための研修会の実施などを挙げることができる。

## 【スタッフ・ディベロップメント（SD）】

事務職員や技術職員など職員を対象とした、管理運営や教育・研究支援までを含めた資質向上のための組織的な取り組みを指す。

## 【ディプロマ・ポリシー（DP）】

卒業認定・学位授与に関する基本的な方針。学部・学科が教育活動の成果として学生に保証する最低限の基本的な資質・養成する人材像と教育研究上の目的を記したもの。

## 【カリキュラム・ポリシー（CP）】

教育課程編成・実施の方針。DPを保証する体系性と整合性が担保されたカリキュラムを記したもの。

## 【アドミッション・ポリシー（AP）】

入学者受け入れ方針。各大学・学部がDPを踏まえ、どのような教育活動を行い、また、どのような学生を求めているのかなどの考え方をまとめたもの。

## 【アクティブ・ラーニング】

教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。学修者が能動的に学修することによって、認知的・倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る。発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学修等が含まれるが、教室内でのグループディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等も有効なアクティブ・ラーニングの方法である。

## 【ルーブリック評価】

いくつかの評価項目について、各レベルの典型となる状況の評価尺度として記述し、学習者のパフォーマンスを評価するもの。通常、表のかたちで示され、判定結果を丸で囲うようにして採点する。学習プロセスの中の場면을切り出し、それぞれに評価項目を設定する。

## 【ポートフォリオ】

大学等の教員が自分の授業や指導の記録である「教育業績ファイル」を意味するティーチング・ポートフォリオと学生が学習過程ならびに各種の学習成果を長期にわたって収集したものを指すラーニング・ポートフォリオがある。

## 【IR（機関調査）】

機関の計画策定、政策形成、意思決定を支援するための情報を提供する目的で、高等教育機関の内部で行われる実践志向の強い組織的な調査分析活動。

## F D研究部会活動報告書 第13号

令和3年4月～令和4年3月

---

令和4年4月発行

編集	徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部FD研究部会		
発行	徳島文理大学		
	徳島キャンパス	〒770-8514	徳島県徳島市山城町西浜傍示 180 電話：088-602-8000(代表)
	香川キャンパス	〒769-2193	香川県さぬき市志度 1314-1 電話：087-899-7100(代表)

---